



PARAMOUNT BED

ユーザーガイド

介護用ベッド 楽匠フィットシリーズ 楽匠Fit

Hタイプ

KQ-C5***・KQ-C5***A/B/S
KQ-C6***・KQ-C6***A/B/S
KQ-C7***・KQ-C7***A/B/S
KQ-C8***・KQ-C8***A/B/S
KQ-CA***・KQ-CA***A/B/S
KQ-CB***・KQ-CB***A/B/S
KQ-CC***・KQ-CC***A/B/S
KQ-CD***・KQ-CD***A/B/S
KQ-CE***・KQ-CE***A/B/S



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、介護用ベッド楽匠フィットシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「ユーザーガイド」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- この「ユーザーガイド」はユーザー様向け用に作成されており、組立・分解方法は記載されておりません。組立・分解方法につきましては、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「ユーザーガイド」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「ユーザーガイド」をよくお読みください。
- この「ユーザーガイド」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、この「ユーザーガイド」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「ユーザーガイド」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。



↑このベッドの
使いかたを確認
できます。



↑介護用ベッド
の役割を確認
できます。



↑介護用ベッド
向けアプリが
ダウンロード
できます。

パラマウントベッド株式会社

7F13134200A0

本書の見かた

このたびは、当社製品（以下、ベッド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本書では、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドを正しく安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ベッドを使用して療養する方ばかりでなく、付き添いの方にも正しく安全な取扱方法を説明してください。
- 本書はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、本書の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。
特別なものを除き本書では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

本書に記載されているマークについて

 Note	特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを示しています。
	参照していただきたいページを示しています。
	ベッドの方向（頭側）を示しています。
	ベッドの方向（足側）を示しています。

おことわり

このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

- ベッドサイドレール ➡ サイドレール
- ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ） ➡ ベッド用グリップ

本製品について 4

各部の名称 4

手元スイッチの種類とベッド動作 5

表示パネル付き手元スイッチ 5

液晶タッチパネル付き手元スイッチ 6

本製品の特長 7

ベッドポジションを自在にコントロール ... 7

足先の角度切りかえが可能 8

ボードの取り外しが簡単 8

使いやすい手元スイッチ 8

スマートフォンとの連携 9

小物の収納が可能なボード 9

足側からの介護がしやすいフットパネル ... 9

静かなベッド動作 9

多彩なオプション 9

使用前の確認と準備 10

安全上の注意 10

安全ラベルについて 10

組み合わせについて 11

すき間について 12

ベッド操作について 13

転落・転倒について 14

電装品について 15

点検・修理について 16

その他 16

設置上の注意 18

ベッドの寝位置 19

手元スイッチの取付位置 20

手元スイッチの配線方向について 20

手元スイッチの取付けかた 20

コードクリップ（付属品）の使いかた 20

ベッドの使用方法 21

表示パネル付き手元スイッチの使いかた 21

操作ボタンと表示ランプ 21

表示パネル 22

電源の入れかた 22

呼出ボタン 23

設定モードへの切りかえ 25

ベッドの動作設定（RC10DO） 26

ベッドの動作設定（RC18DO） 27

ベッドの動作設定（RC16DO） 28

操作ボタンのロック（操作禁止） 29

メモリーポジションの登録 30

ラクリアモーションの動作モード切りかえ 31

高さ表示の切りかえ 31

設定の初期化 32

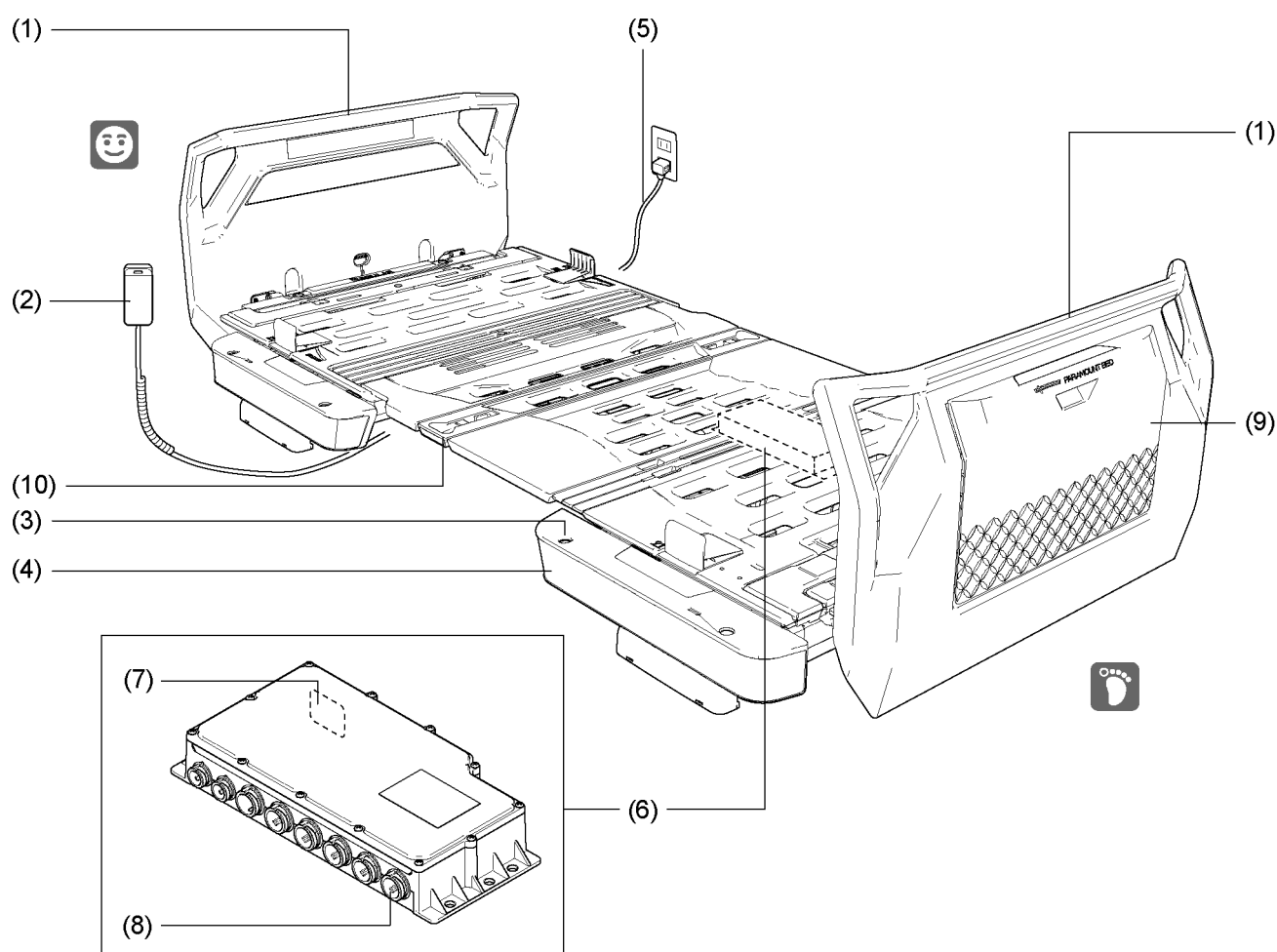
オールリセット 33

液晶タッチパネル付き手元スイッチの 使いかた 34

操作ボタンと表示ランプ 34

画面の表示／ロック解除.....	36	足先角度の切りかえかた	62
設定画面の表示のしかた.....	36	足先あげにするとき	62
操作履歴	37	足先さげにするとき	63
エラー履歴	37	収納カバーの使いかた（樹脂ボード）	64
ベッド操作設定	38	使いかた.....	64
呼出設定	40	許容寸法と耐荷重	64
画面表示設定.....	41	電源コードの配線.....	65
呼出ボタンの登録	42	マットレス止めの取り付け／取り外し	66
操作ボタンのロック（操作禁止）	44	ボードの取り付け／取り外し	68
メモリーポジションの登録.....	45	フットパネルの取り付け／取り外し	69
ラクリアモーションの動作モード切りかえ .	46	オプション／マットレス.....	71
高さ表示の切りかえ	46	適合オプション	71
設定の初期化.....	47	適合表	72
ベッドの操作のしかた	48	ベッドサイドレール	73
ラクリアモーション	48	ソフトカバー付／クリアカバー付ベッド	
らくらくモーション.....	53	サイドレール	74
背あげ／背さげ	55	ベッド用グリップ	75
膝あげ／膝さげ	55	キャスター	76
高さ調節	56	ハイトスペーサー	76
角度制限機能.....	57	ソフトカバー付ベッド用グリップ.....	76
メモリーポジション	57	ベッドサイドテーブル.....	77
背膝連動	58	スマートハンドル	78
オプション受の使いかた	60	IV ポールホルダー	78
使いかた	60	マットレスストッパー	79
位置の調節手順	60	棚ユニット	79
オプション受の調節	61	フットパネル	81

脚座ゴムシート	82	移動（移設）	101
呼出受信機	82	組んだベッドを移動（移設）する場合	101
適合オプションの組み合わせと取付位置	83	分解して移動（移設）させる場合.....	101
ベッド用グリップを使用する場合	83	仕様.....	102
ベッドサイドレールを使用する場合	85	ベッド本体.....	102
適合マットレス	86	故障かなと思ったら	110
適合マットレス	86	故障かなと思ったら	110
延長マットレス	88	背アクチュエーターの配線.....	114
電動介護リフトの使用上のご注意.....	89	手元スイッチコードの配線.....	115
緊急時のベッド操作	90	ハイローアクチュエーター（頭側）の配線 ..	117
緊急時のベッド操作	90	ハイローアクチュエーター（足側）の配線 ..	118
乾電池使用での背さげ・膝さげ	91	製品識別表示ラベルについて	119
手動での背さげ／戻しかた	92	アフターサービス	121
スマートハンドルの使いかた	94	アフターサービスについて.....	121
取り付け後の確認.....	96	お問い合わせ先	122
取り付け後の確認.....	96		
こんなときは.....	99		
日常のお手入れ	99		
定期点検	99		
日常のお手入れ	99		
長期保管	100		
長期にわたりベッドを使用しない場合	100		
組んだベッドを保管する場合	100		
分解して保管する場合	100		



No.	名 称	参照先
1	ボード（樹脂ボード・木目ボード・フットパネルがあります）	📖 ボードの取り付け／取り外し(P.68) 📖 フットパネルの取り付け／取り外し(P.69)
2	手元スイッチ	📖 表示パネル付き手元スイッチの使いかた(P.21) 📖 液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた(P.34)
3	オプション取付穴	📖 オプション受の使いかた(P.60)
4	オプション受	📖 オプション受の調節(P.61)
5	電源コード	📖 電源コードの配線(P.65)
6	コントロールボックス	—
7	乾電池接続部	📖 乾電池使用での背さげ・膝さげ(P.91)
8	スマートハンドルのコネクター差込部	—
9	収納カバー	📖 収納カバーの使いかた(P.64)
10	ハルンバッグかけ	—

手元スイッチの種類とベッド動作

手元スイッチの種類とベッド動作

ベッドに取り付けられている手元スイッチによって、使用できるベッド動作が異なります。

表示パネル付き手元スイッチ

品番		RC10D0	RC18D0	RC16D0
タイプ		ラクリアモーション (3 モーション)	ラクリアモーション (2 モーション)	2 モーション
ボタン数		10	8	6
手元スイッチ				
ベッド動作	ラクリアモーション	○	○	—
	らくらくモーション	○	—	—
	背膝連動	—	—	○
	背あげ	○	○	○
	膝あげ	○	—	—
	高さ調節	○	○	○

手元スイッチの種類とベッド動作

液晶タッチパネル付き手元スイッチ

品番		RC5000	RC5800	RC5600
タイプ		ラクリアーション (3 モーション)	ラクリアーション (2 モーション)	2 モーション
ボタン数		10	8	6
手元スイッチ				
ベッド動作	ラクリアーション	○	○	—
	らくらくモーション	○	—	—
	背膝連動	—	—	○
	背あげ	○	○	○
	膝あげ	○	—	—
	高さ調節	○	○	○

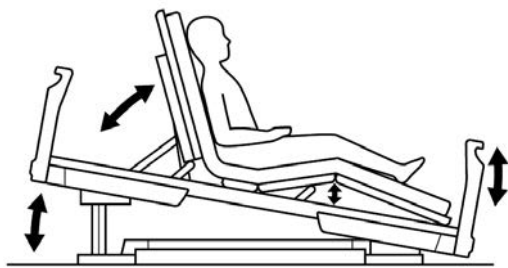
本製品の特長

本製品は、ご家庭でベッドを使用する方の動作を助け、介護する方の介護負担を軽くするベッドです。

ベッドポジションを自在にコントロール

ラクリアーション

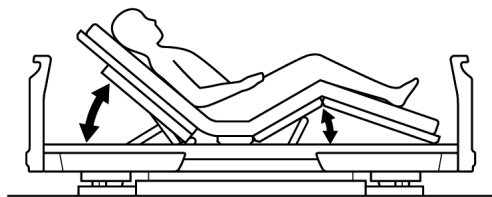
背ボトムの「あげ／さげ」と連動して、膝・足ボトム・ベッド高さが自動で動作します。身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。足先がさがること、ベッド上でベッドを使用する方の視野が広がるとともに、離床もより楽に行えます。また、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢で過ごすことができます。



📖 ラクリアーション(P.48)

らくらくーション

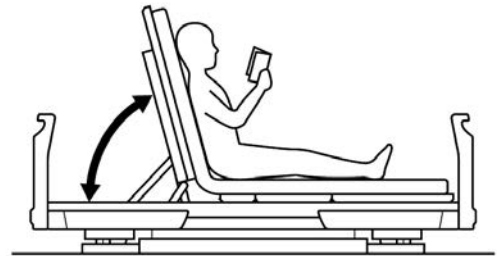
背ボトム「あげ／さげ」と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。



📖 らくらくーション(P.53)

背あげ

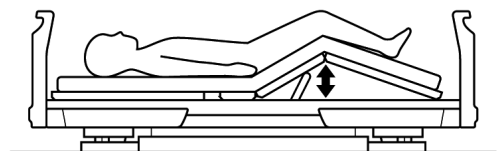
背ボトムを水平から 75°まで調節できます。背をあげることによってベッドからの起きあがりにより楽に行えます。



📖 背あげ／背さげ(P.55)

膝あげ

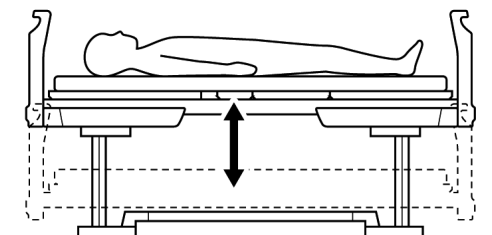
膝・足ボトムを水平から 30°まで調節できます。背あげ時に、先に膝をあげておくことで身体のずれを少なくすることができます。また、背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。



📖 膝あげ／膝さげ(P.55)

高さ調節

ベッドの高さを 21cm～64.5cm まで調節できます。低床のため、背の低い方でもかかとをしっかりとゆかに着けることができます。また、万一の転落のときにも衝撃を軽減できます。適度な高さまであげることで、介護者はより楽な姿勢で介護ができます。



🔧 高さ調節(P.56)

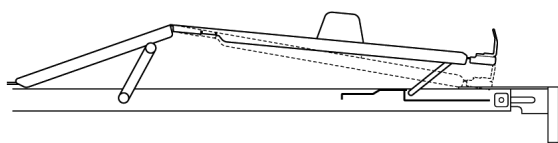
メモリーポジション

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

🔧 メモリーポジション(P.57)

足先の角度切りかえが可能

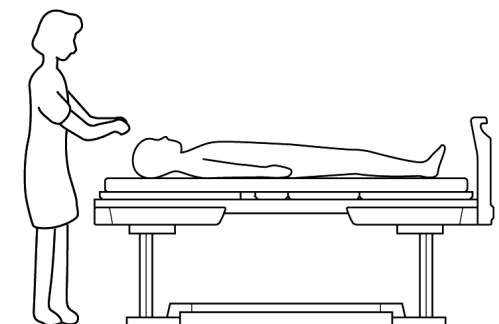
膝あげのとき、膝から先の曲がり角度（膝・足ボトム（足側）の角度）を 2 段階（足先あげ／足先さげ）に調節できます。足先をあげることで、足のむくみなどがある方が楽に過ごすことができます。



🔧 足先角度の切りかえかた(P.62)

ボードの取り外しが簡単

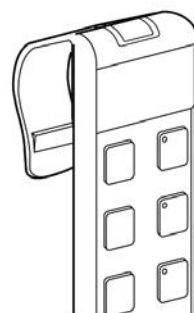
シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。



使いやすい手元スイッチ

表示パネル付き手元スイッチ（RC1＊D0）

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
 - 操作ボタンの突起により、触感であがる／さがるを区別できます。
 - 呼出ボタンを押すと、ブザー音で通知できます。
- ※ 呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。



本製品の特長

液晶タッチパネル付き手元スイッチ (RC5*00)

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 画面に表示するボタンを自由に選択できます。
- 操作時にアナウンスで、操作ボタンをお知らせできます。（初期状態：OFF）
- 呼出ボタンを押すと、ブザー音、メロディで通知できます。

※ 呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

📖 表示パネル付き手元スイッチの使いかた(P.21)

📖 液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた(P.34)

スマートフォンとの連携

家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし、ベッドと Bluetooth Low Energy（以下、BLE）接続すると、スマートフォンと連携する以下の機能を使用できます。

- スマートフォンでのベッド操作
- 手元スイッチの呼出ボタンでのスマートフォンへの通知

※ スマートフォンとベッドとの連携については、下記QRコードからセットアップガイドを参照してください。

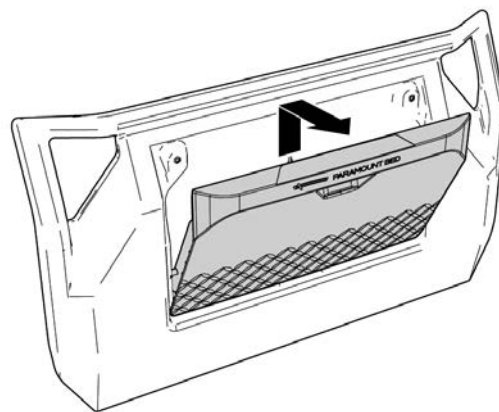
※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

※ Bluetooth および Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標です。本文中における®および TM は省略しています。



小物の収納が可能なボード

ボードの外側には、開閉できる収納カバーがあり、ベッド周りの小物や取扱説明書などを入れることができます。



📖 収納カバーの使いかた(P.64)

足側からの介護がしやすいフットパネル

フットボードの代わりに取り付けることで、足側からの介護がしやすくなります。

※ フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を取り付けてください。

静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。

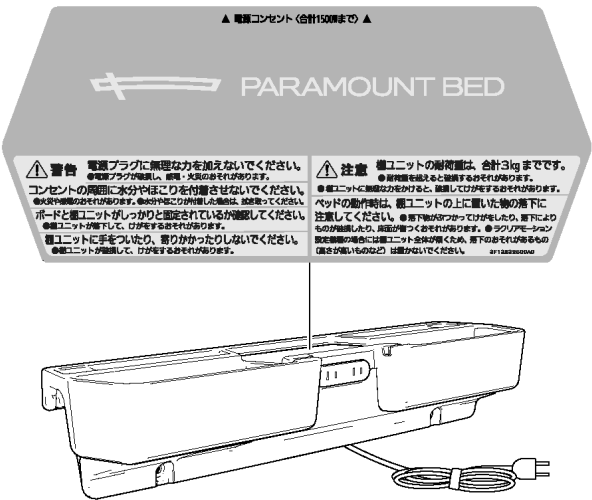
多彩なオプション

身体の状態にあわせて、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取り付けることができます。

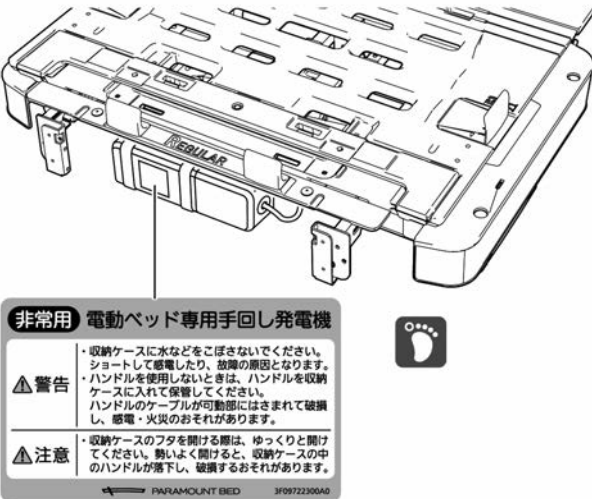
📖 適合オプション(P.71)

安全上の注意

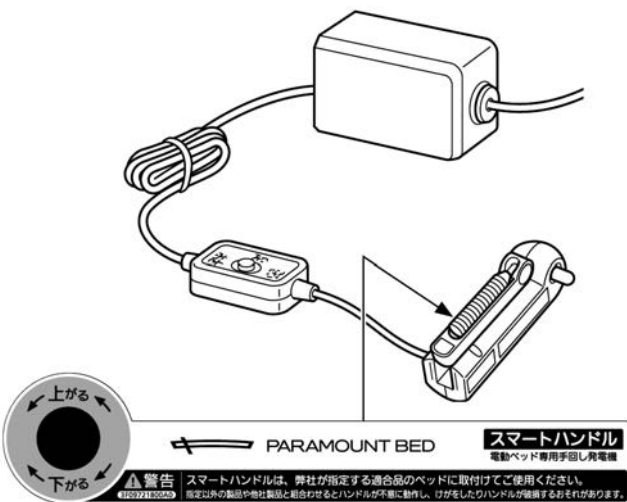
棚ユニット (KQ-PC00E)



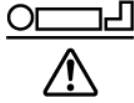
スマートハンドル収納ケース (KQ-C****Sのみ)



スマートハンドル



本製品では、以下のシンボルが使用されています。

	PSE マーク
	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
	JIS マーク
	ハルンバッグかけ耐荷重

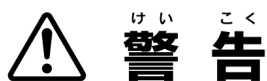
組み合わせについて

 **警告**

ベッドに直接取り付けて使用するベッドサイド
レール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品
をお使いください。

指定以外の製品や他社製品と組み合わせると、意図せ
ぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下など
により、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそ
れがあります。

すき間について



すき間に注意してください。

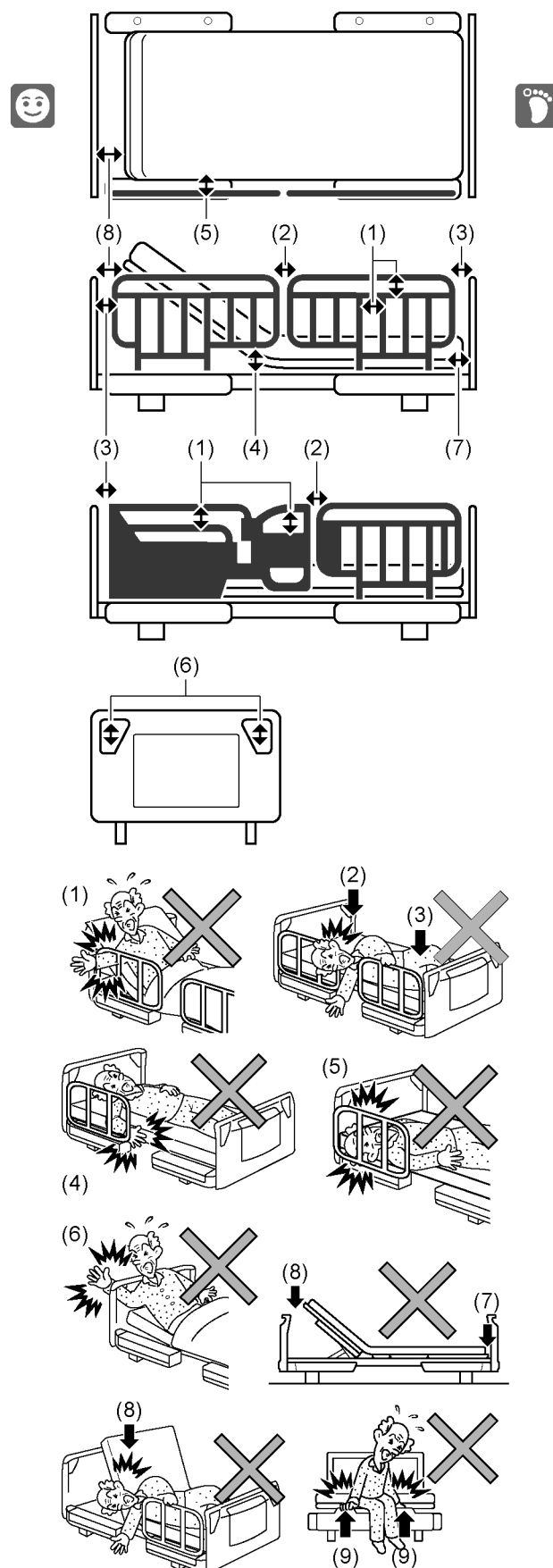
- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組み合わせるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。

- 下記の項目に注意してください。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。

- (1) ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- (2) 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- (3) ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- (4) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
- (5) ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
- (6) ボード内部のすき間
- (7) ボードとマットレスのすき間
- (8) あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間
- (9) ボトムとボードやフットパネルのすき間
- (10) その他、身体の一部をはさむすき間

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは、正しい組み合わせでご使用ください。

🔧 適合オプションの組み合わせと取付位置(P.83)



ベッド操作について



身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください。

- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください。

- ベッドの可動部とフレームやボード・ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの操作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。



ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドを使用する方の状態に注意してください。

- ベッドを使用する方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き・姿勢で使用してください。

- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。
- 電源プラグを抜く。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボトム角度やベッドの高さに注意してください。

万一のベッドからの転落に備え、使用する方の状況に応じて、ボトム角度を水平にしてベッドの高さを最低高さにしてください。

スマートフォンと連携して、ベッドの操作や設定を行う際は、使いかたに十分に注意してください。

- スマートフォンによるベッドの操作や設定は、ベッドが見える位置で行ってください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- 操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作をさせないでください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。

※ スマートフォンとの連携については、JIS 認証範囲外となります。



2人以上で使用しないでください。

- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをすることがあります。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
- ベッドに乗る方が最大利用者体重を超えていないこと。（最大利用者体重は仕様を確認してください。）
- ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターに依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

背あげの際など、あがっているボトムに乗らないでください。

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形のおそれがあります。

移乗のときなどに、マットレス止めに身体をぶつけないように注意してください。

けがをすることがあります。

手元スイッチ操作時は周囲を確認してください。

手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。

ベッドが破損してけがをすることがあります。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。（安全動作荷重は仕様を確認してください。）

転落・転倒について



ベッドサイドレール・ベッド用グリップ・ボードやフットパネルなどに腰掛けたりしないでください。

ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形したりして、けがをすることがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。

- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをすることがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをすることがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドを踏み台がわりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねたりしないでください。

ベッドから転落・転倒したり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

乳幼児やお子様には使用しないでください。

- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをすることがあります。
- ベッドサイドレールを使用していてもすき間から転落して、けがをすることがあります。

電装品について



手元スイッチなどの電装品の取り扱いに注意してください。

- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ ぶつけたり傷つけたりしないでください。
 - ・ 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

コード類(電源コードなど)を傷つけないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - ・ コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください。

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド・適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください。

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫しないように注意してください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください。

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作のおそれがあります。なお、他の ME 機器と併用するときは、安全をご確認の上で使用ください。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

電源コードのみを持って引抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください。

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりを付着させないでください。

- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

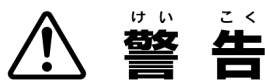
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に水などをかけないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンターまでご連絡ください。

点検・修理について



お客様による修理・改造はしないでください。

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
- JIS 認証製品は、JIS で定められた構造・性能が変更されるような改造を行った場合は JIS 認証製品としての取り扱いができなくなります。

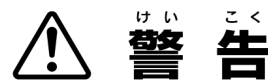
ベッドは定期的に点検してください。

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ・可動部の動作・破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

その他



ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取り付けるときは、正しい向きで確実に取り付けてください。

- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
 - 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差し込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取り付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
 - 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。
- ※ ミニタイプは、通常取付状態でも最大 2.5cm とび出しますが正常です。

ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

火気に近づけないでください。

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などおそれがあります。

安全上の注意

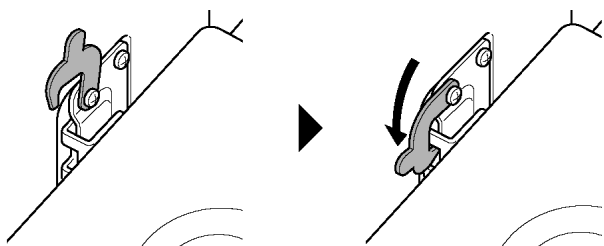
ベッドを使用する方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください。

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。



ボードはストッパーを掛けてください。

ボードの取り付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。



木目ボードに濡れたタオルなどをかけたり、加湿器などの蒸気を直接あてないでください。

ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

棚ユニットを装着したベッドの操作をするときは、壁や梁はりに気をつけてください。

- ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。
- 棚ユニットをベッドに取り付けた場合は、壁から30cm以上離してベッドを設置してください。ご使用のときには、ベッド動作で棚ユニットや棚ユニットのコンセントに差し込んだ電源プラグが壁に当たらないか注意しながら操作してください。
- 棚ユニットに物を置いている場合は、43.5cm 離していても壁などに物がぶつかる場合があります。棚ユニットの高さより大きい物を置く場合は、壁や梁はりに当たらないか注意しながら操作してください。

スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください。

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

ハルンバッグかけに、最大積載質量を超えるものを吊り下げないでください。

- ハルンバッグかけの耐荷重は 5kg です。
- ハルンバッグかけに、ボトム記載の耐荷重 5kg を超えるものを吊り下げると、ボトムが変形して転落し、けがをするおそれやベッドが転倒してけがをするおそれがあります。

ハルンバッグ用のフックは確実に取り付けてください。

ハルンバッグが不意に落下してけがをしたり、破損したりするおそれがあります。

ベッドの乗り降りのおときは、ハルンバッグにぶつからないように注意してください。

ハルンバッグが不意に落下してけがをしたり、破損したりするおそれがあります。

設置上の注意

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドは一度組み立てますと、部屋の中での移動や向きの変更が困難な場合があります。



電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください。

- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。



ベッド周辺のスペースを確保してください。

- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換・着替え・洗髪・歯磨き・食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作するとき、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください。

寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量がベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。ベッド質量は仕様を、オプション質量は各取説を参照してください。

故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷氣や暖氣が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

結露の原因となるので、次のような場所での使用に注意してください。

- 温度が低い場所
- 湿度が高い場所
- 短時間での寒暖の差が大きい場所

上記の場所でご使用される場合は、次のことをおすすめします。

- 清拭タイプマットレスの使用
- 定期的な換気

ベッドの寝位置

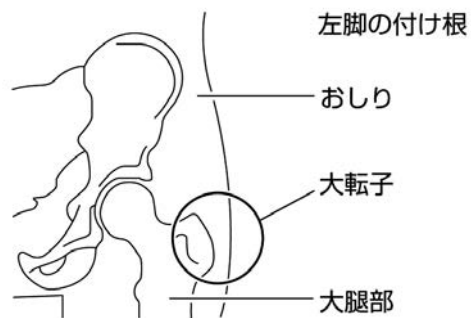
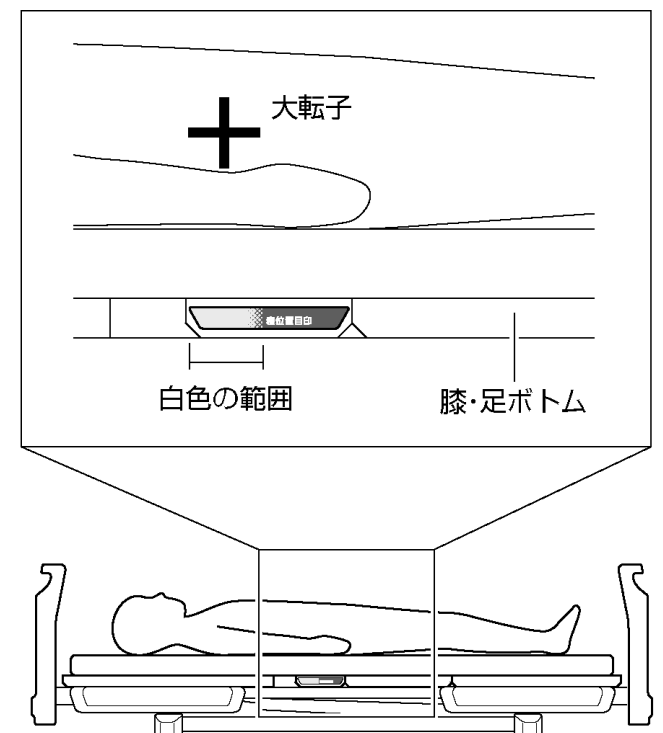
フィットラインボトムは圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です。本製品にはフィットラインボトムが標準で搭載されています。従来製品と比較して、次のようなご使用上の特長があります。

- 背あげ時の圧迫感を軽減します。
- 背あげ時の身体のずれを軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。
- 骨盤が立ち、次の動作をサポートします。

フィットラインボトムの効果を十分に発揮させるため、ご使用になるときは膝・足ボトム（腰側）側面にある寝位置ラベルの白色範囲内に使用する方のおしり（大転子）を合わせてください。

※ 大転子：

足の付け根、大腿骨上方にある大きな突起



手元スイッチの取付位置



手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。

それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをすることがあります。

手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。

ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手（指）をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

手元スイッチの取り扱いに注意してください。

ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりするおそれがあります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

- ぶつけたり、傷つけたりしないでください。
- 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼してください。

手元スイッチの配線方向について

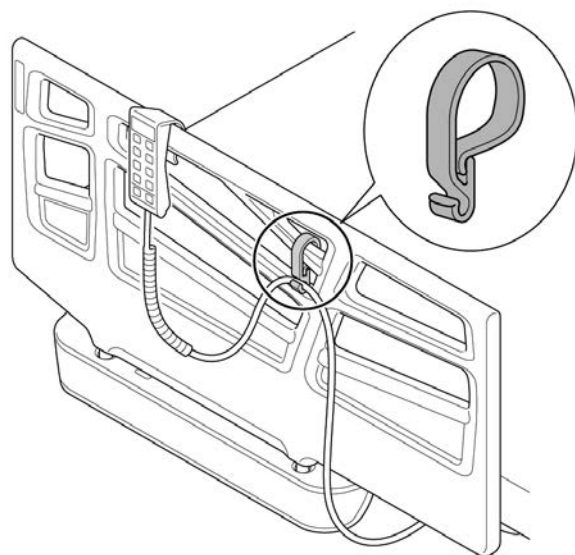
手元スイッチをベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。正しい配線方向に必ず配線してください。

手元スイッチの取付けかた

手元スイッチを使用しないときは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。

コードクリップ（付属品）の使いかた

コードクリップを手元スイッチコードに取り付け、ベッドサイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防できます。

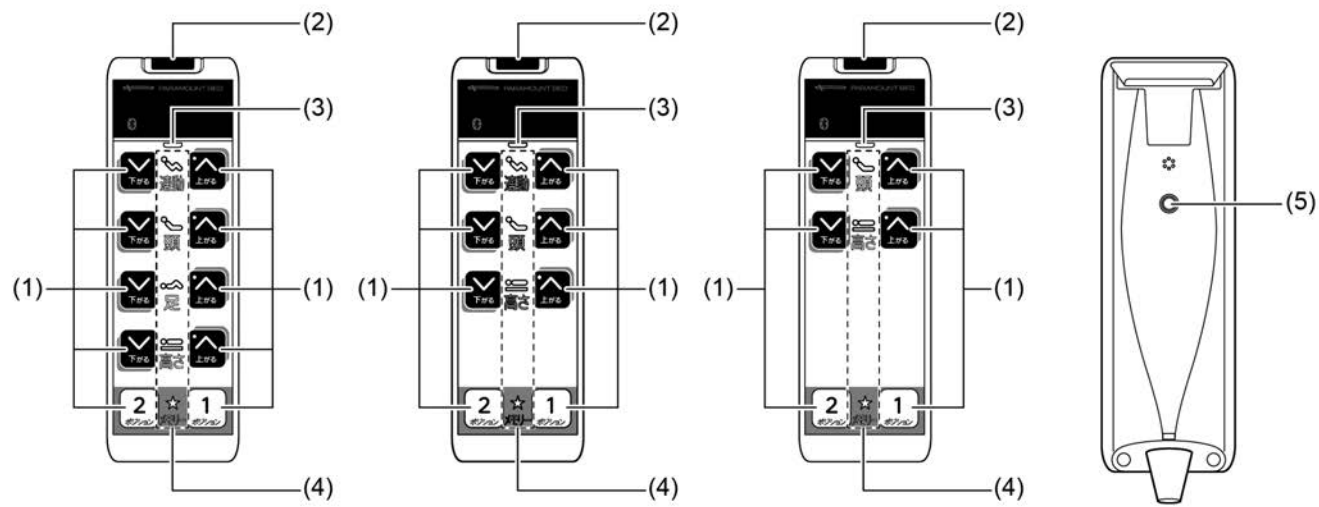


Note

- コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取り付けてください。
- コードクリップは、手元スイッチコードのカーブ部分が常に引っ張られた状態にならない位置に取り付けてください。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

操作ボタンと表示ランプ



No.	名 称	説 明
(1)	操作ボタン	ボタンを押すとベッドが動き、ボタンを離すとその位置で止まります。また、同時に 2 つ以上のボタンを押した場合も止まります。 ※ 同時に 2 つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。
(2)	呼出ボタン	ボタンを押すとブザー音が鳴ります。 事前にスマートフォン連携を設定した場合は、ブザー音が鳴ると同時にスマートフォンへ通知が送信されます。 ※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。
(3)	電源ランプ	ベッドの通電状態をお知らせします。 点灯（緑）：正常な通電状態 消 灯 ：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合 点滅（橙）：断線や障害物との接触などの異常を表示
(4)	操作選択ランプ	操作ボタンの有効（操作可能）／ロック（操作禁止）をお知らせします。 点灯（白）：操作が可能な状態 消 灯 ：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態 ※ 一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手につくなど本体に揺れがあると自動で点灯します。
(5)	設定ボタン	操作ボタン（頭あげボタン）と一緒に 3 秒長押しすると各種設定が変更できます。またボタンを長押しすると、BLE 接続を開始します。 ※ お持ちのスマートフォンとベッドとの BLE 接続方法については、QR コードからセットアップガイドを参照してください。



⚠ 警 告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

表示パネル



(1) 角度／高さ表示／エラーコード

動作中の各ボトムの動作を数字で表示します。
背角度：0°～74°まで 2°間隔で表示し、75°で停止
膝角度：0°～30°まで 2°間隔で表示
高 さ：21cm～65cm まで 2cm 間隔で表示

(2) BLE 接続表示

BLE の接続状態を表示します。接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。

(3) 操作禁止表示

操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅します。

Note

- 表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。
- ラクリアモーション・らくらくモーション・背膝連動の場合、膝角度は表示されません。
- エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
- ハイトスペーサーを取り付けた場合、高さ表示を切りかえできます。

☞ 高さ表示の切りかえ(P.31)

☞ ハイトスペーサー(P.76)

- キャスターを取り付けた場合、ボトム上面までの高さが表示されている値より高くなります。
- お持ちのスマートフォンとベッドとの BLE 連携については、下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。



電源の入れかた

ベッドおよび手元スイッチの電源の入れかたは、自動オフ設定によって異なります。

自動オフ設定が無効の場合（初期状態）

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができます。

自動オフ設定が有効の場合

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯します。
2. 操作ボタンのいずれかを押す。
表示パネルに「On」と表示されます。
操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。（電源 ON 状態）

Note

電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度操作ボタンまたは呼出ボタンを押して電源「ON」の状態にすると操作できます。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

呼出ボタン

呼出ボタンを使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で BLE 接続を利用した通知を受け取れます。

※ 専用アプリケーションについては下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。



※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

警告

スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

ブザー音の鳴らしかた

1. 呼出ボタンを 1 回押す。

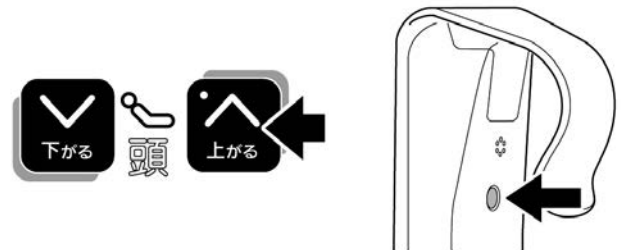
ブザー音が鳴ります。ベッドとスマートフォンが BLE 接続している場合は、お持ちのスマートフォンにメッセージが送信されます。



呼出しボタンロック（操作禁止）のしかた

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。

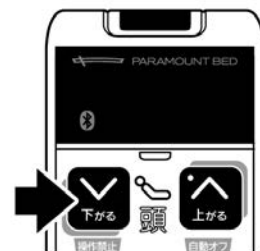


2. 操作禁止ボタンを押す。

操作選択ランプが切りかわります。

ロック状態：消灯

解除状態：点滅

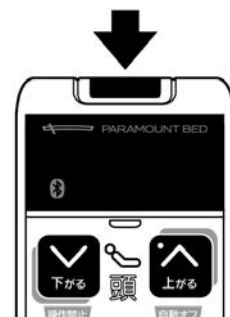


3. 呼出ボタンを押す。

操作選択ランプが切りかわります。

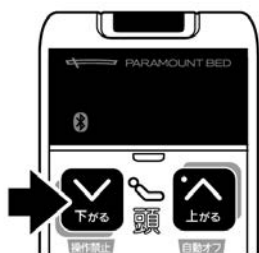
禁止する：点滅→消灯

解除する：消灯→点滅



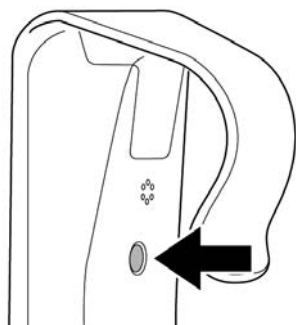
4. 操作禁止ボタンをもう 1 回押す。

設定が完了します。



5. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。



表示パネル付き手元スイッチの使いかた

設定モードへの切りかえ

手元スイッチ裏面の設定ボタンと操作ボタン（頭あげボタン）と一緒に 3 秒長押しすると、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。

警告

操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。

操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。
- 電源プラグを抜く。

操作ボタンのロック（操作禁止）(P.29)

設定ボタンを一度押してから、20 秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

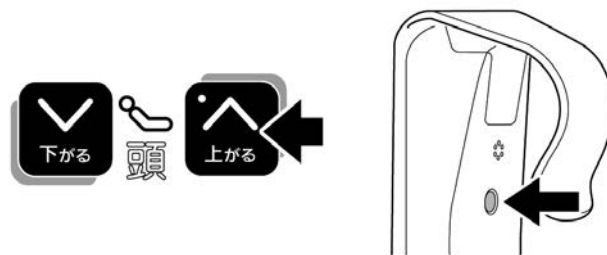
設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

注意

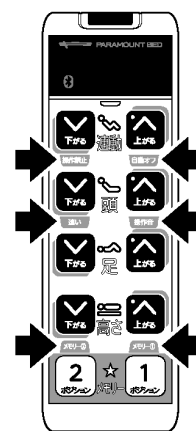
設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。

破損の原因となります。

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。



2. おもて面の設定選択ランプが点灯します。



3. 操作ボタンで各種設定を行う。
 4. 設定ボタンを再度押す。
設定が確定します。
- ※ 設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

ベッドの動作設定 (RC10DO)

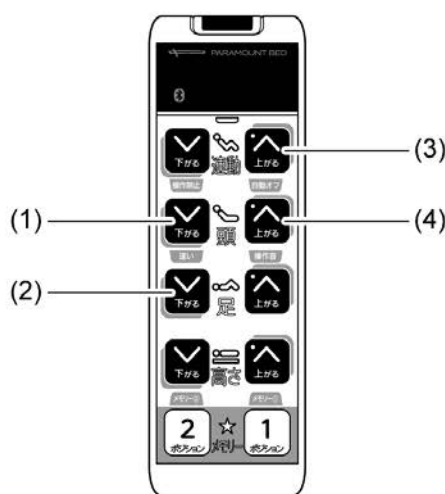


設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

🔑 設定モードへの切りかえ(P.25)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッドの動作速度の設定	ベッドの動作速度を「普通」と「速い」で切りかえます。 ※ ベッド高さが 32cm 以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。	暗い：普通 明るい：速い	普通
(2)	ベッド動作の切りかえ	連動ボタンを押したときのベッド動作を「ラクリアモーション (3 モーション)」と「らくらくモーション」で交互に切りかえます。 ※ ベッドが傾斜しているときは、らくらくモーションへの切りかえができません。ベッドを一度水平に戻してから行ってください。 ※ ラクリアモーションは「床高によって傾斜角度が変わる動作モード」(初期状態)と「常に 10° 傾斜する動作モード」に切りかえができます。 🔑 ラクリアモーションの動作モード切りかえ(P.31)	暗い：らくらくモーション 明るい：ラクリアモーション	ラクリアモーション
(3)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(4)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

ベッドの動作設定 (RC18D0)

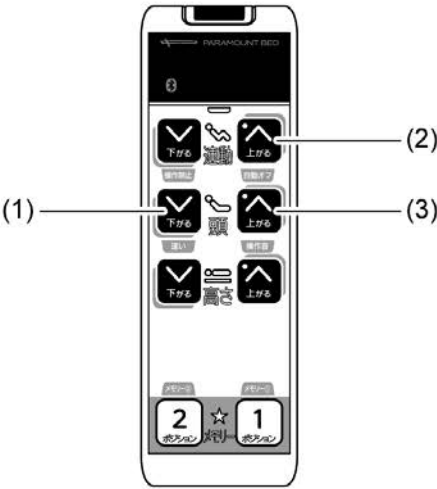


設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

設定モードへの切りかえ(P.25)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッドの動作速度の設定	ベッドの動作速度を「普通」と「速い」で切りかえます。 ※ ベッド高さが 32cm 以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。	暗い：普通 明るい：速い	普通
(2)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(3)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

ベッドの動作設定 (RC16D0)



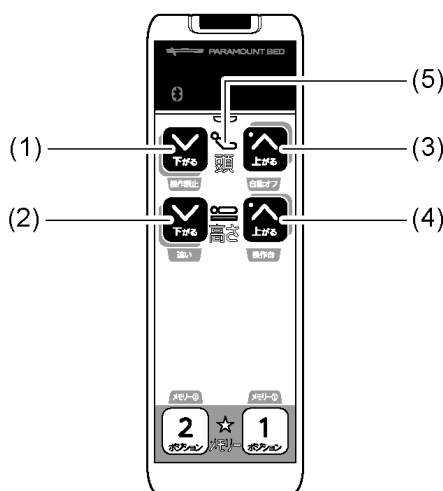
警告

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確認してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

設定モードへ切りかえて、設定を変更してください。各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

🔑 設定モードへの切りかえ(P.25)



No.	設定項目	設定内容	設定選択ランプ	初期状態
(1)	ベッド動作の切りかえ	ボタンを 3 秒長押しすると、頭ボタンを押したときの動作を「背膝連動」と「背あげ」で交互に切りかえます。 操作選択ランプ (5) が下記の通り表示されます。 橙点灯：背膝連動（モーター駆動） 消 灯：背あげ	—	背あげ
(2)	ベッドの動作速度の設定	ベッドの動作速度を「普通」と「速い」で切りかえます。 ※ ベッド高さが 32cm 以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。	暗い：普通 明るい：速い	普通
(3)	無操作時の自動オフ設定	手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチの電源を OFF 状態にできます。電源 OFF のときは、一度操作ボタンを押すと電源 ON になり、ベッドの操作や設定ができます。 ※ 電源プラグを抜いても設定は維持されます。	暗い：無効 明るい：有効	無効
(4)	操作音の設定	操作ボタンを押したときの操作音を「切」と「入」で切りかえます。	暗い：切 明るい：入	入

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

操作ボタンのロック（操作禁止）

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

※ 初期状態では、すべての操作が可能になっています。

警告

操作ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、ベッドが動作する場合があります。

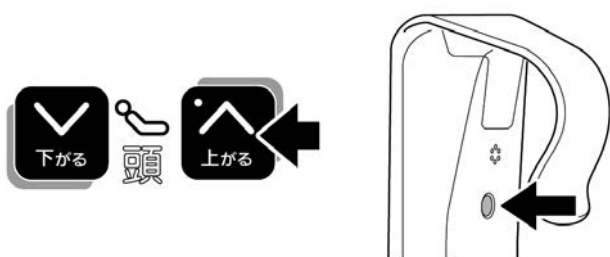
意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

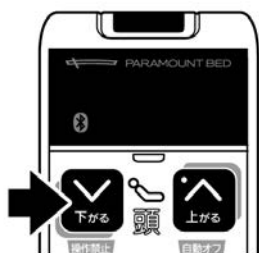
1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。



2. 操作禁止ボタンを押す。

操作選択ランプは点滅します。ロックが設定されているボタンは操作選択ランプが消灯します。

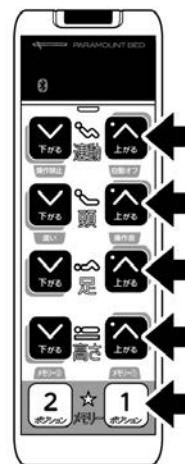


3. 禁止に設定したいボタンの「あがる」ボタンを押す。メモリーを設定したい場合はメモリー1 ボタンを押す。

操作選択ランプが切りかわります。

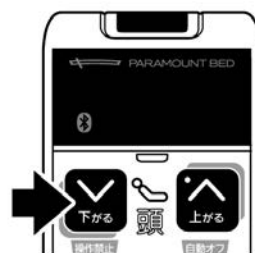
禁止する：点滅→消灯

解除する：消灯→点滅



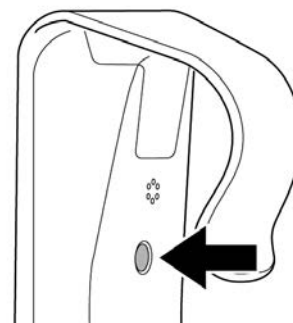
4. 操作禁止ボタンを再度押す。

操作選択ランプの点滅が消えます。



5. 設定ボタンを再度押す。

設定が確定します。



Note

呼出ボタンも同様に操作禁止にすることができます。

呼出ボタン(P.23)

メモリーポジションの登録

メモリーボタンにベッドのポジションを最大 2 個まで登録できます。



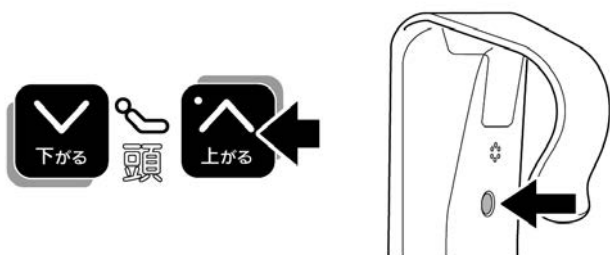
設定変更が完了したら、設定ボタンを再度押して、設定を確定してください。

設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

1. 登録したいポジションまでベッドを動作させる。
2. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。
おもて面の設定選択ランプが点灯します。



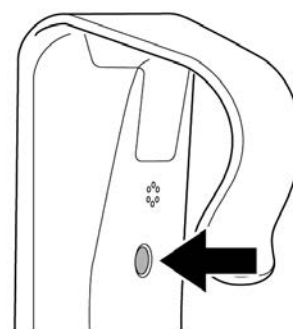
3. 登録したいメモリーボタンを押す。

現在のベッドのポジションが仮登録され、仮登録の数値が表示されます。

※ メモリーボタンを 3 秒長押しすると、初期設定が仮登録されます。



4. 仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押す。
現在のベッドのポジションが登録され、設定が確定します。



Note

仮登録の数値の表示が消えた後に、設定ボタンを押してください。仮登録の数字表示中に押しても設定が確定されません。

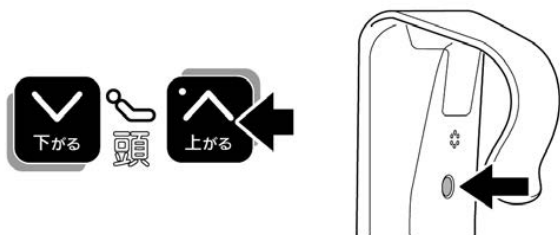
表示パネル付き手元スイッチの使いかた

ラクリアモーションの動作モード切りかえ

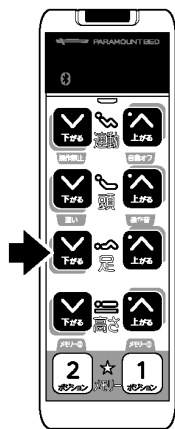
手元スイッチ（RC10D0）を使用している場合、ラクリアモーション（3 モーション）の動作モードを「床高に合わせて傾斜」と「常に 10°傾斜」で切りかえができます。初期状態は「床高に合わせて傾斜」です。

1. 頭あげボタンと設定ボタンを同時に 3 秒長押しする。

おもて面の設定選択ランプが点灯します。



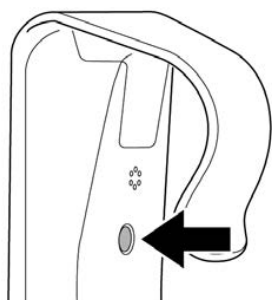
2. 足さげボタンを 3 秒長押しする。



3. 連動の操作選択ランプが橙色で点灯する。

4. 設定ボタンを押す。

動作モードが切替わります。



高さ表示の切りかえ

ハイトスパーサーの使用によるベッドの高さ（床高）の変更にあわせて、手元スイッチの高さ表示を切りかえることができます。

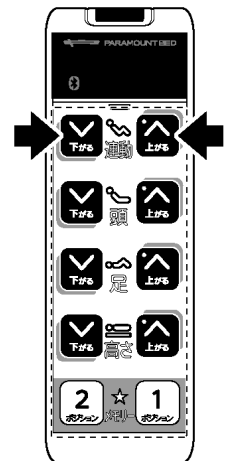
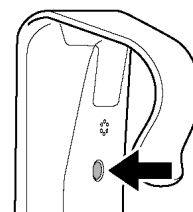
ハイトスパーサーの有無	高さ表示
ハイトスパーサーなし （初期状態）	21cm～65cm
ハイトスパーサーあり	28cm～72cm

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 操作ボタン2ヶ所と設定ボタンを同時に押した状態で、電源プラグをコンセントに差し込む。

ボタンを押したまま3秒以上経過すると、「ピー」と音が鳴り、高さ表示が切りかわります。

※ 「ピピッ」と音が鳴りますが、ボタンを離さないでください。

※ エラーコード（U0）が表示されますが、故障ではありません。



3. 高さ表示が切りかわっていることを確認する。

Note

高さ表示を戻す場合は、設定の初期化を行ってください。

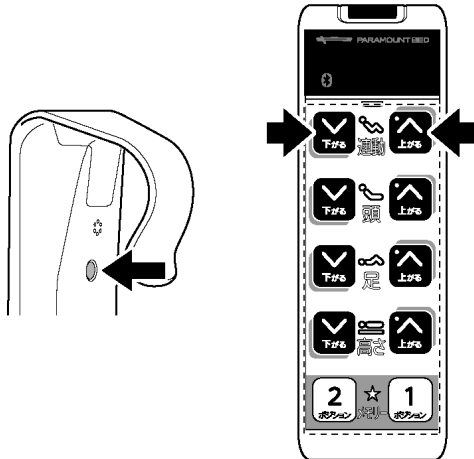
📖 設定の初期化(P.32)

設定の初期化

設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

1. 設定モードにしていない状態で、操作ボタン2ヶ所と設定ボタンを同時に3秒以上押す。

設定が初期状態になります。



初期状態 (RC-10D0)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
ベッド動作	ラクリアモーション
ラクリアモーションの動作モード	床高によって傾斜角度が変わる
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30° 膝：6° 高さ調節：動作なし
メモリー2	背：0° 膝：0° 高さ調節：動作なし

初期状態 (RC-18D0)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30° 膝・高さ：動作なし
メモリー2	背：0° 膝・高さ：動作なし

初期状態 (RC-16D0)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
ベッド動作	背あげ
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー1	背：30° 膝・高さ：動作なし
メモリー2	背：0° 膝・高さ：動作なし

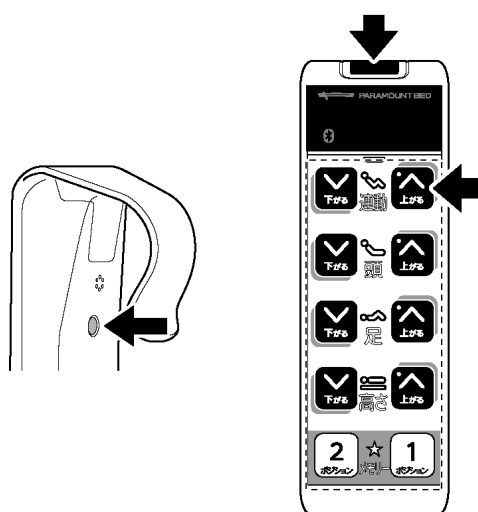
Note

- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容は取消されません。
- 高さ表示を切りかえた場合は、高さ表示も初期化されます。（初期状態：21cm～65cm）

オールリセット

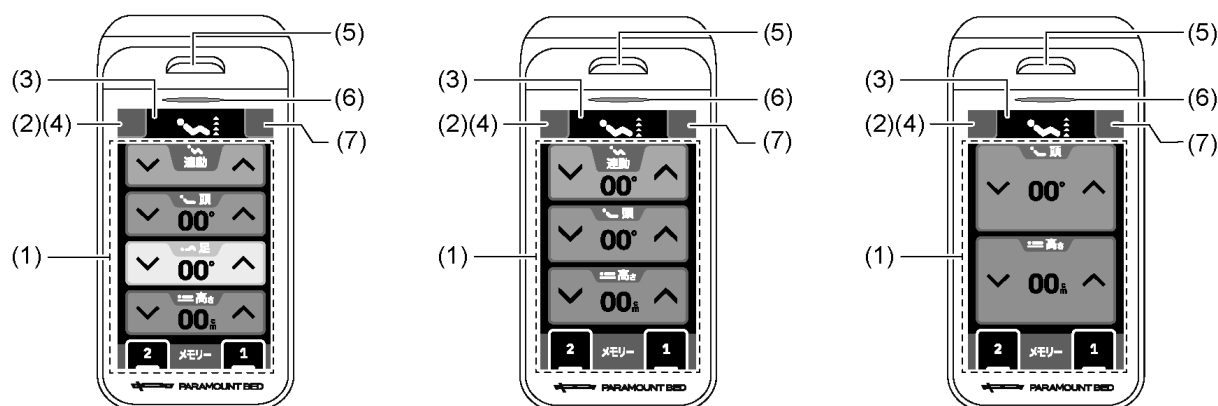
スマートフォンの接続情報や履歴情報の削除を含む、すべての設定を初期化できます。ベッドを返却する際や手放す際は、必ずオールリセットを行ってください。

1. 設定モードにしていないう状態で、操作ボタン 1 ケ所・呼出ボタン・設定ボタンを同時に3秒以上押す。
「ピー」と音が鳴り、設定がすべてリセットされます。



液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

操作ボタンと表示ランプ



No.	名 称	説 明
(1)	操作ボタン	● ボタンをタッチし続けている間は手元スイッチが振動しつつ、ベッドが動き、ボタンを離すとその位置で止まります。また、画面と天面ボタンを同時に押した場合も止まります。 ※ ベッド動作中に天面ボタンを押して、動作を止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。 ● 動作中の各ボタムの動作を数字で表示します。表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。 背角度：0°～75°まで 1°間隔で表示 膝角度：0°～30°まで 1°間隔で表示 高 さ：21cm～65cm まで 1cm 間隔で表示 ● ロック（操作禁止）に設定されている操作ボタンは表示されません。 ● エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
(2)	設定ボタン	設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押すと設定画面を表示します。 ※ 「呼出」の設定で「画面ボタンを ON」にすることで、「設定ボタン」から「呼出画面の表示ボタン」に切り替わります。
(3)	BLE 接続表示	BLE の接続状態を表示します。接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。
(4)	インフォメーション画面表示	設定ボタンをタッチし続けている間は、インフォメーション画面とメッセージを表示します。
(5)	天面ボタン	初期状態は点灯/消灯ボタンとして使用します。 「呼出」の設定で「天面ボタンを ON」にすることで、「呼出しボタン」として使用することもできます。 ベッド動作中に押すと、動作が停止します。再度操作するときには一度すべてのボタンから手を離してください。

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

No.	名 称	説 明
(6)	電源ランプ	ベッドの通電状態をお知らせします。 点灯（緑）：正常 消 灯 ：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合 点滅（橙）：断線や障害物との接触などの異常の場合
(7)	操作画面切替ボタン	初期状態はボタンが表示されません。 「画面表示」の「ベッド操作画面」設定で 2 種類のベッド操作画面を有効にすると表示されます。



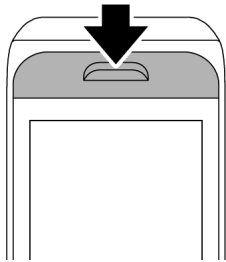
ベッドの動作を止めたい場合は、操作ボタンから指を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

画面の表示／ロック解除

表示のしかた

液晶タッチパネルが消灯したときは、以下の方法で表示できます。

- 天面ボタンを押す。
- 液晶タッチパネルをタッチする。
- 手元スイッチ本体を持ちあげる。



液晶タッチパネルが表示されているときは、以下の方法で消灯できます。

- 天面ボタンを押す。(天面ボタンの呼出機能を ON にした場合は、消灯しません)
- 設定した消灯時間が経過する。

画面ロックの解除

誤動作を防ぐために、画面ロックを設定できます。画面を 3 秒長押しすると、画面ロックを解除できます。



※ 画面ロック設定/解除は「画面表示設定」から設定できます。

📖 画面表示設定(P.41)

設定画面の表示のしかた

⚠ 警告

操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。

操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- 操作ボタンをロック(操作禁止)する。
- 電源プラグを抜く。

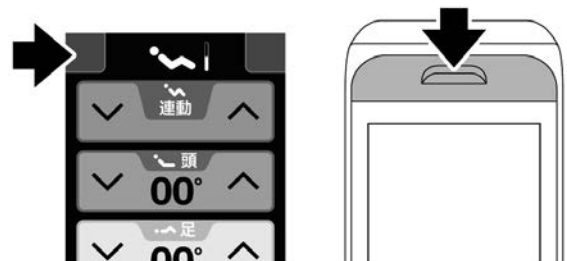
📖 操作ボタンのロック(操作禁止)(P.44)

⚠ 注意

液晶タッチパネルをタッチするときは、鋭利なものを使用しないでください。

破損のおそれがあります。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。



設定画面が表示されます。



液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

設定項目	設定内容
ベッド操作	ベッドの各動作を設定します。 🔑 ベッド操作設定(P.38)
呼出	呼出しボタンを登録できます。 🔑 呼出設定(P.40)
画面表示	各画面表示を設定できます。 🔑 画面表示設定(P.41)
アプリ連携	お手持ちのスマートフォンと連携させ専用アプリを使用することができます。 下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。 
デバイス情報	「高さ表示の切りかえ」「設定の初期化」「操作履歴」の確認「エラー履歴」の確認ができます。 🔑 高さ表示の切りかえ(P.46) 🔑 設定の初期化(P.47) 🔑 操作履歴(P.37) 🔑 エラー履歴(P.37)

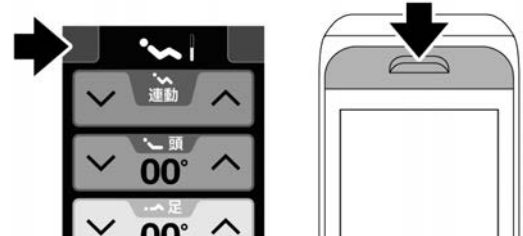
操作履歴

ベッドの操作履歴として、操作回数、部位別の使用割合、使用頻度の高い姿勢を確認することができます。

エラー履歴

最新 8 件のエラー履歴を確認することができます。

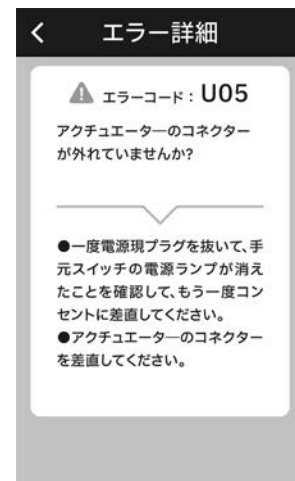
1. 設定ボタンを押しながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



2. [デバイス状態]をタッチする。
3. [エラー履歴]をタッチする。



4. 確認したい[エラー情報]をタッチする。
エラー詳細が表示されます。



液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

ベッド操作設定

ベッドの各動作を設定します。



設定項目	設定内容
動作速度	ベッドの動作速度を「ふつう」と「速い」で切りかえます。
操作音	● 操作音を「ブザー」「音声」から選択します。 ● 操作音の音量を 6 段階から設定します。
操作禁止	操作ボタンのロック（操作禁止）を設定します。 ※ ロック（操作禁止）にした操作ボタンは表示されません。  操作ボタンのロック（操作禁止）(P.44)
操作範囲	各操作ボタンの操作範囲（上限・下限）を設定します。 ※ 操作範囲設定値から 1～3°/cm ずれて止まる可能性があります。動作に応じて、設定を調整してください。
メモリー登録	ベッドのポジションを最大 2 個まで登録します。  メモリーポジションの登録(P.45)
動作切替	RC5000 の場合 ● 連動ボタンを押したときの動作を「ラクリアモーション」と「らくらくモーション」で切りかえます。 ● ラクリアモーションの傾斜角度動作を「床高に合わせて傾斜」（初期状態）と「常に 10° 傾斜」に切りかえます。 ※ ベッドが傾斜しているときは、らくらくモーションへの切りかえができません。ベッドを一度水平に戻してから行ってください。 RC5600 の場合 頭ボタンを押したときの動作を「背あげ」と「背膝連動」で切りかえます。

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

初期状態

設定項目	スイッチ型番		
	RC5000	RC5800	RC5600
動作速度	ふつう	ふつう	ふつう
操作音	ブザー 音量 2	ブザー 音量 2	ブザー 音量 2
操作禁止	すべての操作が可能	すべての操作が可能	すべての操作が可能
操作範囲	無効	無効	無効
メモリー1	背：30° 膝：6° 高さ調節：動作なし	背：30° 膝・高さ：動作なし	背：30° 膝・高さ：動作なし
メモリー2	背：0° 膝：0° 高さ調節：動作なし	背：0° 膝・高さ：動作なし	背：0° 膝・高さ：動作なし
動作切替	ラクリアモーション (床高によって傾斜角度が変わる)	—	背あげ

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

呼出設定

呼出ボタンとして最大 3 個（天面ボタン・画面ボタン 2 個）まで登録できます。

呼出ボタンを使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で通知を受け取ることができます。

※ 専用アプリケーションについては下記 QR コードからセットアップガイドを参照してください。

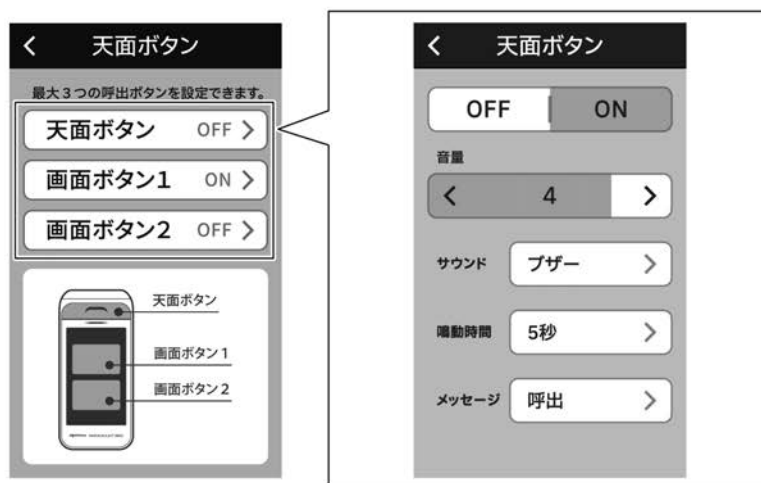
※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。



警告

スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。



設定項目	設定内容	初期設定
ON/OFF	呼出ボタンの登録を「ON」と「OFF」で切りかえます。	OFF
音量	サウンドの音量を 6 段階で設定します。	2
サウンド	サウンドを 6 種類から設定します。	ブザー
鳴動時間	サウンドの鳴動時間を 5 種類から設定します。	5 秒
メッセージ	専用アプリケーションをインストールしたスマートフォンに通知するメッセージを 6 種類から設定します。	呼出

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

画面表示設定

液晶タッチパネルの各画面表示を設定します。



設定項目	設定内容	初期設定
明るさ	画面の明るさを 5 段階で設定します。	3
消灯時間	手元スイッチの操作が無くなってから画面が消灯するまでの時間を設定します。	30 秒
画面ロック	画面ロックを「ON」と「OFF」で切りかえます。	OFF
起動画面	画面を起動させたときに、はじめに表示される画面を設定します。	ベッド操作（標準）
ベッド操作画面	● 表示されるベッド操作画面を「標準」と「シンプル」から選択できます。 ● 「シンプル」では、選択した 1 種類のボタンを大きく表示します。 ※ 1 モーター機種（RC5200／RC5200H）の場合、ベッド操作画面設定はありません。	標準

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

呼出ボタンの登録

呼出ボタンを使用すると、利用者が家族や介護者の方にブザー音で通知できます。また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側で通知を受け取ることができます。

※ スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

※ 天面ボタンを呼出ボタンとして使用の場合は、画面消灯機能は無効になります。



警告

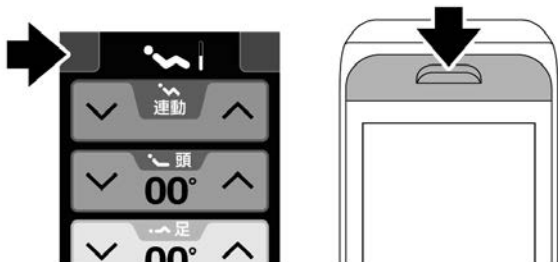
スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLE の電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

登録のしかた

呼出ボタンとして最大 3 個（天面ボタン・画面ボタン 2 個）まで登録できます。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



2. [呼出]をタッチする。
3. 呼出ボタンとして登録したいボタンをタッチする。



4. [ON]をタッチする。必要に応じて、「音量」「サウンド」「鳴動時間」「メッセージ」を変更する。



液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

5. 画面左上の「<」ボタンを押す。

- ※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。
- ※ 呼出ボタンが登録されると、呼出画面が表示されます。
- ※ 天面ボタンのみ呼出で使用する場合は、呼出画面は表示されません。
- ※ ベッド操作画面に戻る場合は[ベッド操作へ戻る]をタッチしてください。



Note

呼出ボタンを登録すると、ベッド操作画面の設定アイコンが呼出アイコンに変わります。

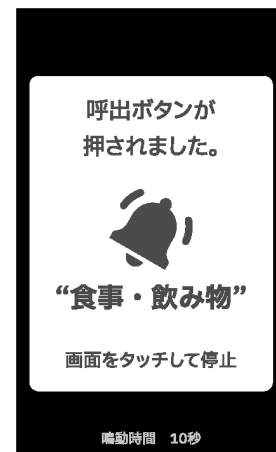
呼出ボタンの使いかた

1. 呼出ボタンを1回押す。

呼出音が鳴り、呼出中画面が表示されます。お持ちのスマートフォンで専用アプリケーションをインストールしベッドが登録されている場合は、スマートフォンにメッセージが表示されます。



呼出中



操作ボタンのロック（操作禁止）

手元スイッチの操作ボタンを非表示にすることができ
ます。

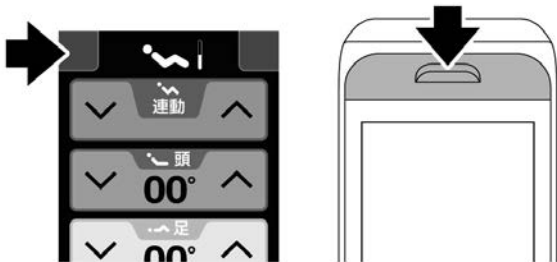
※ 初期状態では、すべての操作が可能になっています。



操作ボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、ベッドが動作する場合があります。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



2. [ベッド操作]をタッチする。
3. [操作禁止]をタッチする。
4. ロック(操作禁止)する動作のONをタッチする。



5. 画面左上の「<」ボタンを押す。

※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

※ ロック（操作禁止）にした操作ボタンは画面に表示されません。

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

メモリーポジションの登録

メモリーボタンにベッドのポジションを最大 2 個まで登録できます。

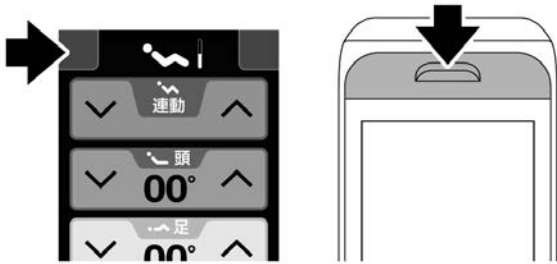


警告

メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差し込んでから行ってください。

意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

1. 登録したいポジションまでベッドを動作させる。
2. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



3. [ベッド操作]をタッチする。
4. [メモリー登録]をタッチする。
5. 登録したいメモリーボタンの[変更]をタッチする。



6. [決定]をタッチする。

現在のポジションが登録されます。

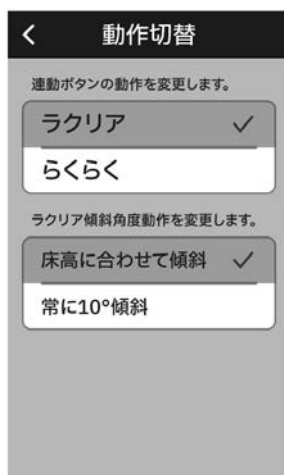


ラクリアモーションの動作モード切りかえ

手元スイッチ（RC5000）を使用している場合、ラクリアモーション（3 モーション）の動作モードを「床高に合わせて傾斜」と「常に 10°傾斜」で切りかえができます。

※ 初期状態は「床高に合わせて傾斜」です。

1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。
2. [ベッド操作]をタッチする。
3. [動作切替]をタッチする。
4. [ラクリア]をタッチする。
5. ラクリアモーションの傾斜角度をタッチする。



6. 画面左上の「<」ボタンを押す。

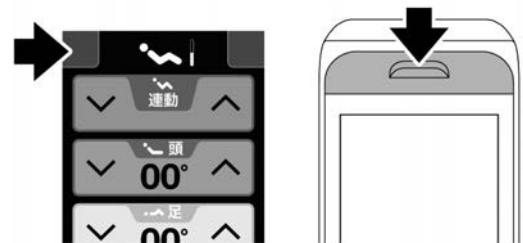
※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

高さ表示の切りかえ

ハイトスペーサーの使用によるベッドの高さ（床高）の変更にあわせて、手元スイッチの高さ表示を切りかえることができます。

ハイトスペーサーの有無	高さ表示
ハイトスペーサーなし (初期状態)	21cm～65cm
ハイトスペーサーあり	28cm～72cm

1. 設定ボタンを押しながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



2. [デバイス情報]をタッチする。
3. [高さ表示の切替]をタッチする。
4. 表示したい高さ表示をタッチする。
高さ表示が切りかわります。



5. 画面左上の「<」ボタンを押す。
6. 高さ表示が切りかわっていることを確認する。
※ 画面左上の「<」ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

液晶タッチパネル付き手元スイッチの使いかた

設定の初期化

設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

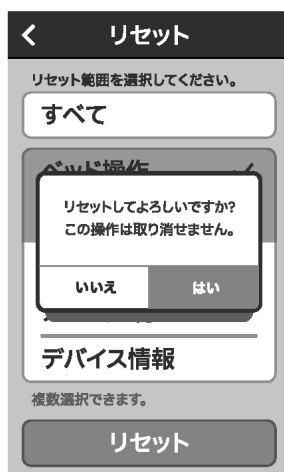
1. 設定ボタンをタッチしながら、天面ボタンを押す。
設定画面が表示されます。



2. [デバイス情報]をタッチする。
3. [リセット]をタッチする。
4. 初期化したい項目を選択し、[リセット]をタッチする。
※ 項目は複数選択できます。



5. [はい]をタッチする。
設定が初期状態になります。



オールリセット

[すべて]を選択すると、スマートフォンの接続情報や履歴情報の削除を含む、すべての設定を初期化できます。ベッドを返却する際や手放すときは、必ずオールリセットを行ってください。

Note

- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容は取消されません。
- 高さ表示を切りかえた場合は、高さ表示も初期化されます。（初期状態：21cm～65cm）

ベッドの操作のしかた

ラクリアーション

背ボトムの動作と連動して、膝・足ボトム・ベッド高さが自動で動作します。身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかり保持します。足先がさがること、ベッド上でベッドを使用する方の視野が広がるとともに、離床もより楽に行えます。また、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢で過ごすことができます。



ラクリアーションの操作後に、端座位や離床を行うときはベッドの高さに注意してください。

足がゆかに着かずに転落・転倒してけがをするおそれがあります。

- ラクリアーションによる背あげ操作では、ベッドが傾斜するため、ベッドの高さが変わることがあります。
- ラクリアーションによる背さげ操作では、背あげ前のベッドの高さに戻らないことがあります。

ラクリアーションの状態で、背さげや高ささげのボタンを押すと、ゆかと膝の角度が大きくなる場合がありますので注意してください。

膝があがった状態では、膝がさがらずに傾斜したベッドが水平になる動きをすることがありますので、端座位をされている場合は、バランスをくずして転落・転倒のおそれがあります。体位の保持に不安のある方は、ベッド上に一旦戻り、ベッド・背・膝を水平な状態にしてから再度、端座位をおとりください。

ラクリアーション動作時は、スイングアーム介助バーのスイングアームを固定した状態で行ってください。

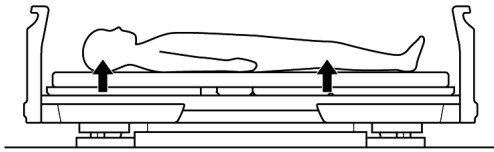
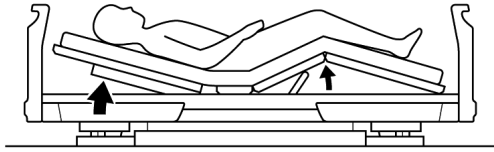
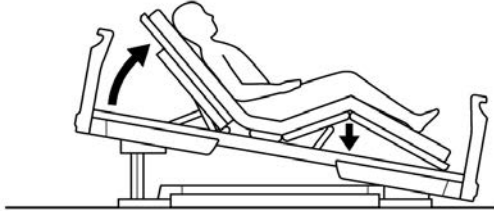
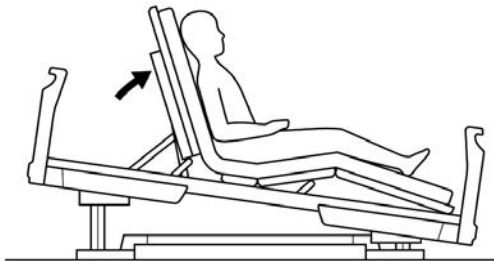
スイングアームを固定していないと、ラクリアーション動作時にスイングアームが不意に動き、けがをするおそれがあります。

※ 連動ボタンを押したときの動作の切りかえができます。表示パネル付き手元スイッチでは、設定選択ランプの点灯が明るいこと（ラクリアーション設定）を確認してください。

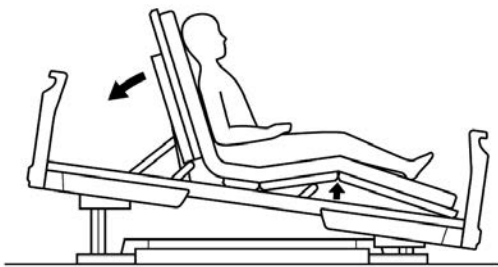
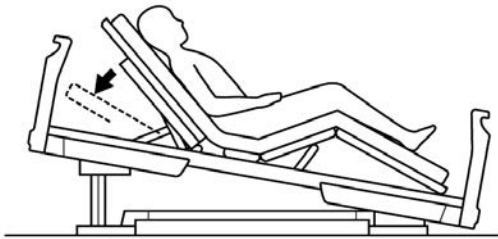
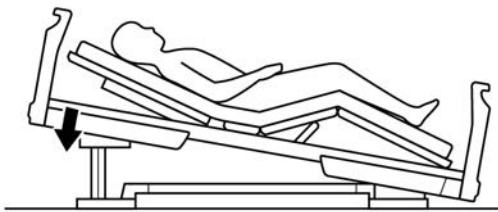
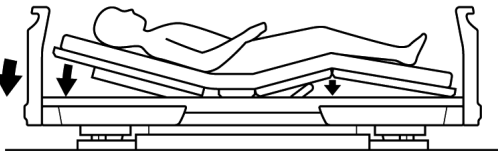
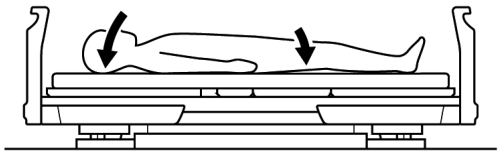
※ 手元スイッチの背・膝の表示角度は、ゆかと背ボトムまたは膝・足ボトムの角度です

ベッドの操作のしかた

ラクリアーション（3 モーション）による背あげ操作（RC10D0/RC5000 の場合）

	(1) 連動あげボタンを押すと、背と膝が同時にあがり始める。
	(2) 背が止まると同時にベッドが傾斜を始める。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。 (3) 膝が最大角度になると止まる。
	(4) 傾斜動作が止まると同時に背があがり始める。 (5) 背はそのままあがり、膝がさがり始める。
	(6) 背が最大角度になるタイミングで、膝が 2°までさがる。

ラクリアモーション（3 モーション）による背さげ操作（RC10D0/RC5000 の場合）

	(1) 連動さげボタンを押すと、背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始める。
	(2) 膝が一旦停止し、背がさがる。
	(3) ベッドの傾斜が戻りながら背がさがる。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。
	(4) ベッドの傾斜が水平になり、さらに背・膝がさがる。
	(5) 背・膝の順に 0°までさがる。

Note

● ベッドの動作について

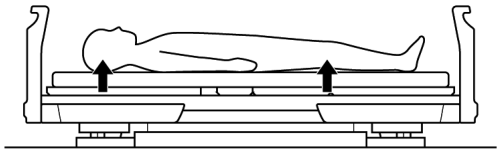
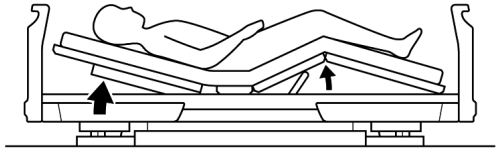
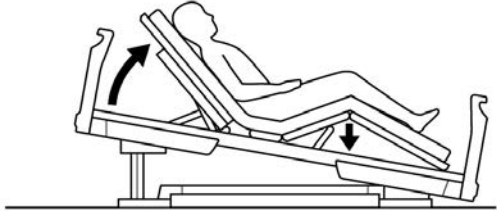
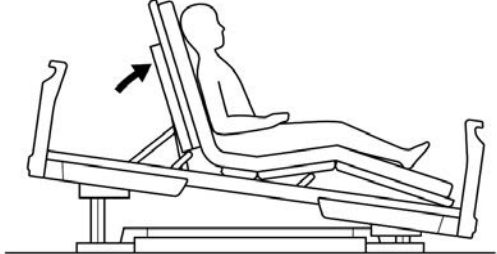
身体が足側にすれないようにするために、ベッドが傾斜している状態では膝は 0°にさげることはできません。（ゆかより 2°あがった状態までしかさがりません）

● ベッドの高さと傾斜角度について

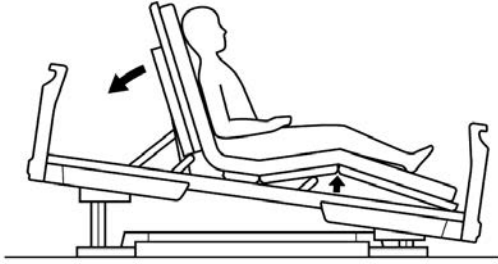
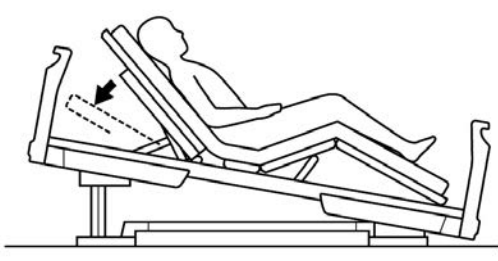
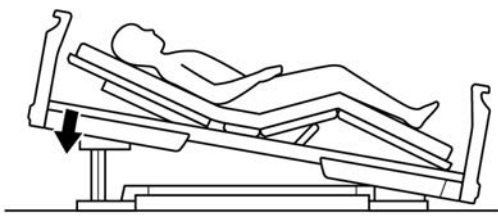
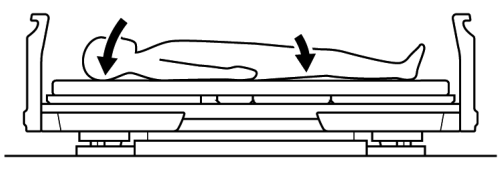
- 初期設定では、ベッドの高さによって傾斜角度が変わります。（最大で傾斜角度 10°）
- ベッドの傾斜角度を常に 10°傾斜する動作モードに切りかえができます。

ベッドの操作のしかた

ラクリアーション（2 モーション）による背あげ操作（RC18D0/RC5800 の場合）

	(1) 連動あげボタンを押すと、背と膝が同時にあがり始める。
	(2) 背が一旦停止し、傾斜しながら膝があがる。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。 (3) 膝が一旦停止し、傾斜しながら背があがる。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。
	(4) 傾斜動作が止まり、背はそのままあがる。 (5) 背はそのままあがり、膝がさがり始める。
	(6) 膝が止まり、背が最大角度まであがる。

ラクリアーション（2 モーション）による背さげ操作（RC18D0/RC5800 の場合）

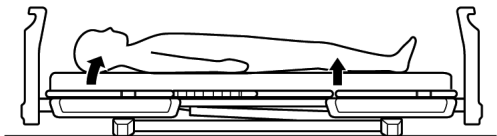
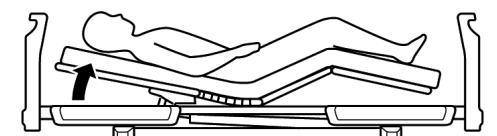
	(1) 連動さげボタンを押すと、背がさがり始める。 (2) 背はそのままさがり、膝があがり始める。
	(3) 膝が一旦停止し、背がさがる。
	(4) 背が止まり、傾斜が戻り始める。傾斜の動作中は「ピピッ」と警告音が鳴る。
	(5) ベッドの傾斜が水平になり、さらに背・膝がさがる。
	(6) 背・膝の順に 0°までさがる。

らくらくモーション

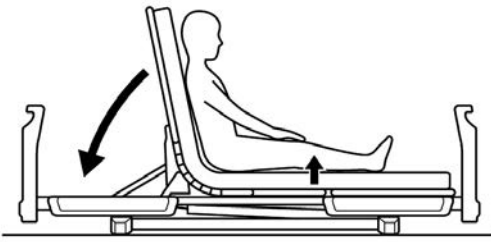
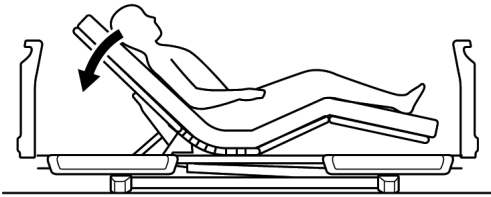
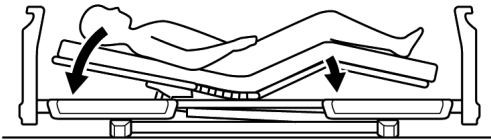
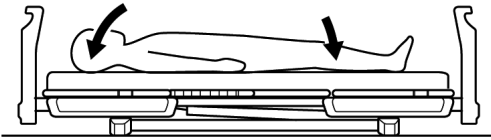
背ボトムと連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。

※ 連動ボタンを押したときの動作が「らくらくモーション」になっていることを確認してください。表示パネル付き手元スイッチでは、設定モードの設定選択ランプの点灯が暗いことを確認してください。

背あげ操作

	(1) 連動あげボタンを押すと、背と膝が同時に上がり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。
	(3) 背はそのまま上がり、膝がさがり始める。
	(4) 背が最大角度になるタイミングで、膝が 0°までさがる。

背さげ操作

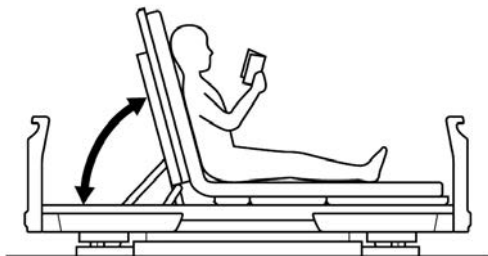
	(1) 連動さげボタンを押すと、背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。
	(3) 背はそのままさがり、膝がさがり始める。
	(4) 背と膝が連動して、ほぼ同時に 0°までさがる。

ベッドの操作のしかた

背あげ／背下げ

背ボトムの角度を調節できます。

動作範囲：0°～75°



背あげ操作

頭あげボタンを押すと、背があがる。ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

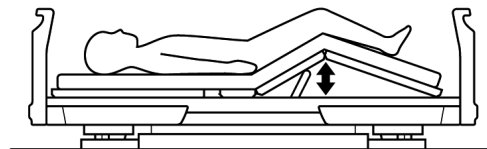
背下げ操作

頭下げボタンを押すと、背がさがる。ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

膝あげ／膝下げ

膝・足ボトムの角度を調節できます。

動作範囲：0°～30°



膝あげ操作

足あげボタンを押すと、膝があがる。ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝下げ操作

足下げボタンを押すと、膝がさがる。ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

Note

手で膝・足ボトム（足側）先端の角度を2段階に切りかえることができます。

☞ 足先角度の切りかえかた(P.62)

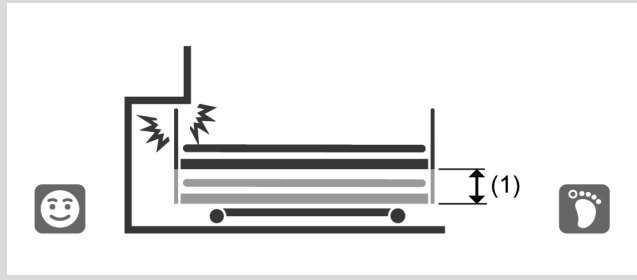
高さ調節

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を調節できます。

⚠ 注意

高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください。

ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に 43.5cm 動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。



動作確認：21cm～64.5cm

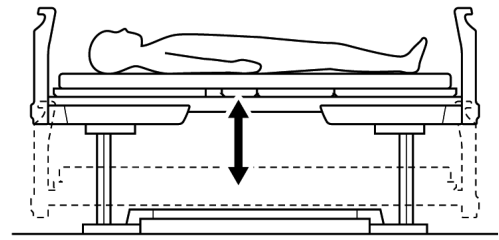
- ※ 表示される数値は、高さが 64.5cm のときは「65」となります。
- ※ キャスターを取り付けた場合は、床高は表示される数値より 3cm 高くなります。
- ※ ハイトスペーサーを取り付けた場合は、表示される数値を切りかえることができます。

表示パネル付き手元スイッチ

🔌 高さ表示の切りかえ(P.31)

液晶タッチパネル付き手元スイッチ

🔌 高さ表示の切りかえ(P.46)



高さあげ操作

高さあげボタンを押すと、ベッドの高さがあがる。ボタンを離すと、ベッドがその位置で止まる。

高ささげ操作

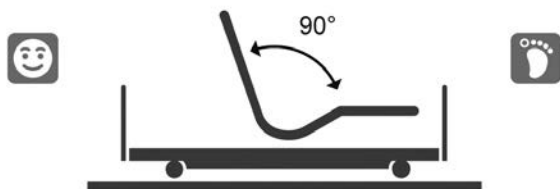
1. 高ささげボタンを押すと、ベッドの高さがさがる。ボタンを離すと、ベッドがその位置で止まる。ボタンを押していても床高が 32cm になると「ピピッ」と鳴って一旦停止する。
2. ボタンを離し、再びボタンを押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、最低高さまでさがる。最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

Note

- 一旦停止後のさげ動作について
 - ・ 床高 32cm 以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
 - ・ 床高 32cm 以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに 21cm（最低高さ）までさがります。
 - ・ 安全のため、警告音は切ることができません。
- ベッドの動作について
 - ・ ベッドが水平状態で高ささげボタンを押すと、床高が 32cm になると一旦停止します。ただし、ベッドが傾斜している状態で高ささげボタンを押すと、傾斜状態のまま、ベッド

は床高 32cm より高い位置で一旦停止します。ボタンから指を離し、再度高ささげボタンを押すと、傾斜状態のまま、最低高さまでさがります。最低高さまでさがると一旦停止します。ボタンから指を離し、再度高ささげボタンを押すとベッドの頭側がさがる動作をします。

角度制限機能



胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝・足ボトムの間の角度が 90°より小さくならないように自動的に動作します。

Note

- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で背ボトムと膝・足ボトムは動きます。

メモリーポジション

あらかじめ設定したポジションに向けて、ベッドが動作します。

メモリーボタン操作

ボタンを押している間は動作を続け、離すとその位置で止まる。メモリーポジションの位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

Note

メモリーポジションを床高 32cm より低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が 32cm になると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。ただし、ベッドが傾斜している状態では床高 32cm より高い位置で一旦停止します。

初期設定

メモリーポジションには、あらかじめ初期設定が登録されています。お好みのポジションを登録することもできます。

表示パネル付き手元スイッチ

🔑 メモリーポジションの登録(P.30)

液晶タッチパネル付き手元スイッチ

🔑 メモリーポジションの登録(P.45)

	登録ポジション
メモリー1	背あげ：30° 膝あげ：6° 高さ調節：動作なし
メモリー2	背あげ：0° 膝あげ：0° 高さ調節：動作なし

※ 初期設定ではメモリーボタンを押しても高さ調節はしません。

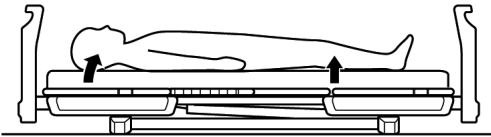
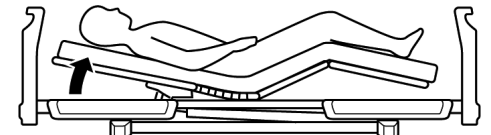
※ 膝あげ動作は、手元スイッチ (RC10D0・RC5000) になります。

背膝連動

背ボトムと膝ボトムの動作と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。

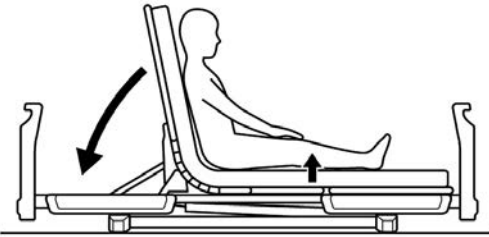
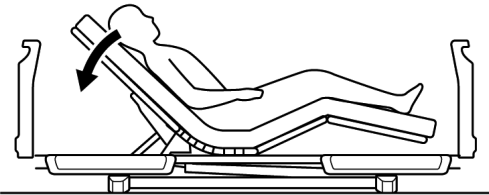
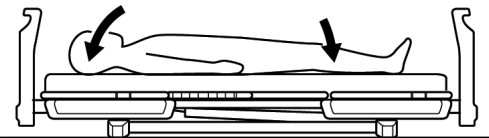
※ 頭ボタンを押したときの動作が「背膝連動」になっていることを確認してください。頭ボタンの操作選択ランプが橙点灯していることを確認してください。

背あげ操作

	(1) 頭あげボタンを押すと、背と膝が同時に上がり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。
	(3) 背はそのまま上がり、膝がさがり始める。
	(4) 背が最大角度になるタイミングで、膝が0°までさがる。

ベッドの操作のしかた

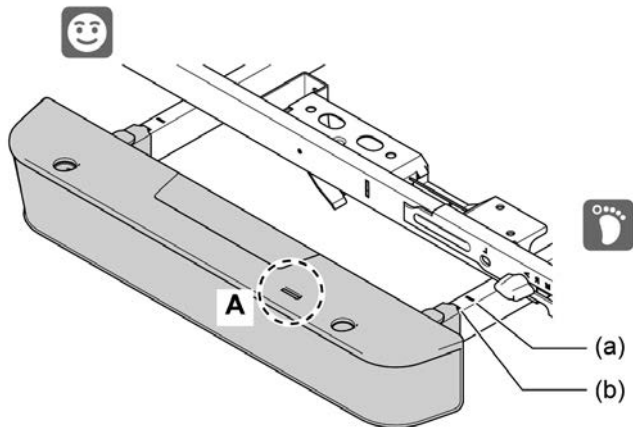
背さげ操作

	(1) 背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始める。
	(2) 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。
	(3) 背はそのままさがり、膝がさがり始める。
	(4) 背と膝が連動して、ほぼ同時に 0°までさがる。

オプション受の使いかた

オプション受 4 ヶ所（頭側・足側の左右各 1 ヶ所）のオプション取付穴にベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取り付けることができます。

使いかた



オプション受の位置には「使用位置」と「格納位置」の状態があります。

表に従って、適切な位置に調節してください。

	マットレス幅 83cm	マットレス幅 91cm
使用位置	(a)	(b)
格納位置	—	(a)

- 車いすなどをベッドに近づけたいときやベッドの設置スペースを小さくしたいときは(a)の位置にしてください。（マットレス幅 91cm のみ）
- マットレス幅 83cm は(b)の位置で使用しないでください。
- オプション受には左右があります。オプション受を取り外してしまった場合は、オプション受のスリット（A）をボード側に向けて取り付けてください。

位置の調節手順

警告

オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。

オプション受がガタついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

オプション受は、マットレスの幅（83cm/91cm）にあわせて正しい位置・正しい向きに設定してください。

誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

格納位置に設定したオプション受には、サイドレール・ベッド用グリップなどのオプションを取り付けしないでください。

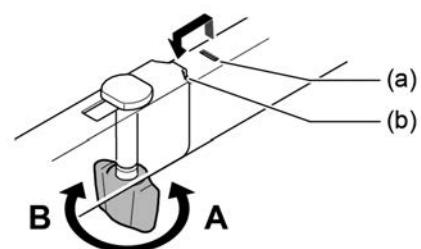
背ボトムが不意に落下してけがをしたり、手や腕などをはさまれてけがをするおそれがあります。

注意

オプション受の位置を調節するときは、手・指をはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

1. オプション受を固定しているノブナットをゆるめる。（1つのオプション受につき2ヶ所）
2. オプション受を引きあげながらマットレス幅に合わせた使用位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れる。
3. ノブナットをしっかりと締め付ける。（A：しめる B：ゆるむ）

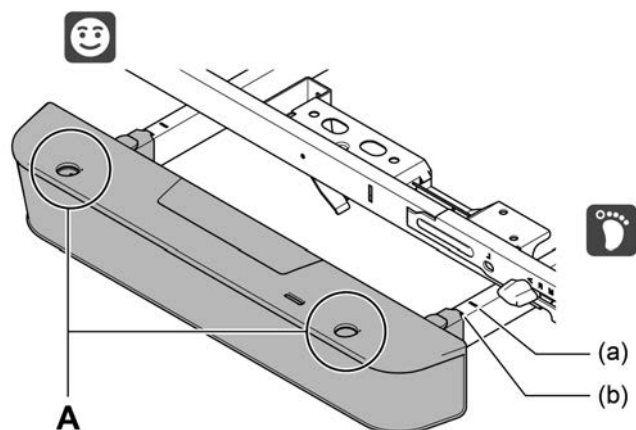


オプション受の調節

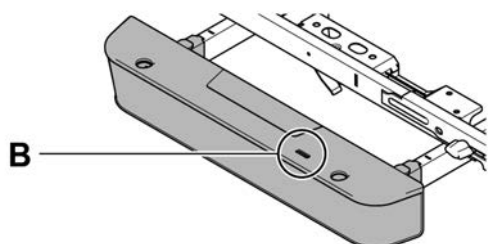
オプション取付穴(A)に、ベッドサイドレールやベッド用グリップを取り付けるときは、下表に従って適切な位置に調節してください。

工場出荷時は、格納位置(a)の位置になっています。

	83cm	91cm
使用位置	(a)	(b)
格納位置	-	(a)



- 車いすなどをベッドに近づけたいときや、ベッドの設置スペースを小さくしたいときは、オプション受を (a) の位置にしてください。
- 格納位置 (a) の位置でベッドサイドレールなどを取り付けて使用しないでください。
- マットレス幅 83cm は、(b) の位置で使用しないでください。
- オプション受には左右があります。オプション受を取り外してしまった場合は、オプション受のスリット(B)をボード側に向けて取り付けてください。



警告

オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。

オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

オプション受は、マットレス幅 (83cm/91cm) にあわせて、正しい位置・正しい向きに設定してください。

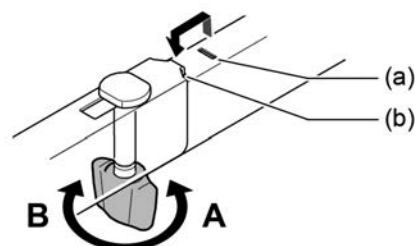
誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

格納位置に設定したオプション受には、サイドレール・ベッド用グリップなどのオプションを取り付けしないでください。

意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、手や腕などをはさまれてけがをするおそれがあります。

調節方法

1. オプション受を固定しているノブナットをゆるめる。(1つのオプション受につき2ヶ所)
2. オプション受を引きあげながらマットレス幅に合わせた使用位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れる。
3. ノブナットをしっかりと締め付ける。(A：しめる B：ゆるむ)



足先角度の切りかえかた

足あげステーを使用して、膝あげ時の足先の角度を2段階に切りかえることができます。足先さげの状態にすると、膝・足ボトム（足側）の先端がさがった状態で（ベッドフレームに沿って）膝あげ動作をします。足先あげの状態にすると、膝・足ボトム（足側）の先端があがった状態で膝あげ動作をします。

注意

足先あげ状態にするときは、足ボトムステーをステー受に確実に載せてください。

載せかたが不十分な場合や、間違った場所に載せた場合は、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作のときにベッドが破損したりするおそれがあります。

足先の角度を切りかえるときは、手や腕などをはさまないように注意して行ってください。

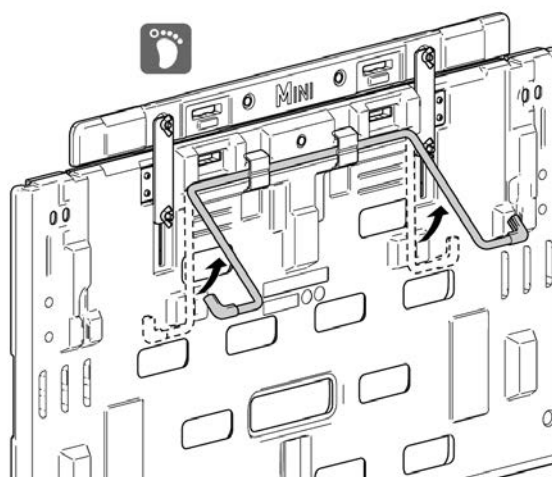
手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

ベッドを使用中の場合は、ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、作業を行ってください。

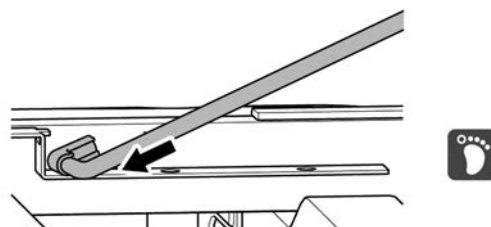
手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

足先あげにするとき

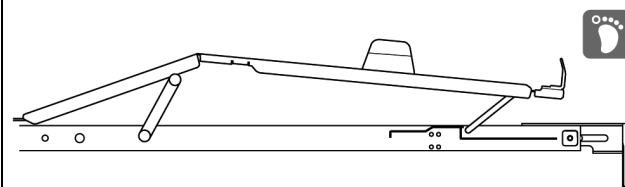
1. 膝・足ボトム（足側）を持ちあげる。
2. 膝・足ボトム（足側）の裏側にある足ボトムステーを凹み（2ヶ所）から外す。



3. 足ボトムステーをベッドフレームのステー受に載せて、膝・足ボトム（足側）を降ろす。



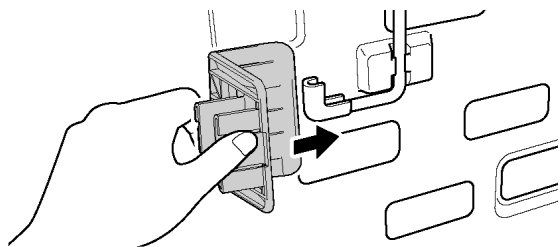
足先あげ状態



足先角度の切りかえかた

Note

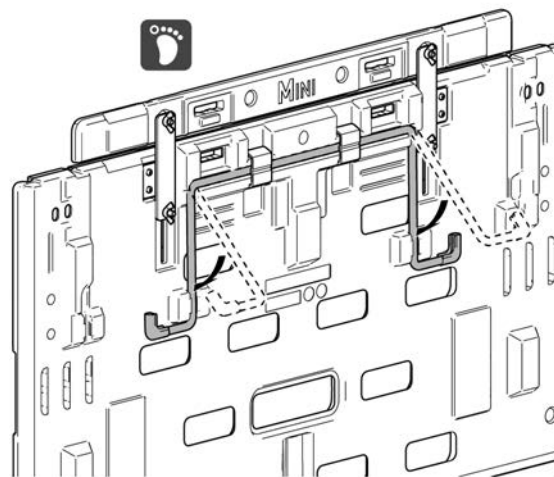
- 足ボトムステーが外しにくい場合は、マットレス止め（大）を足ボトムステー（先端部）に差し込み、押し込んでください。



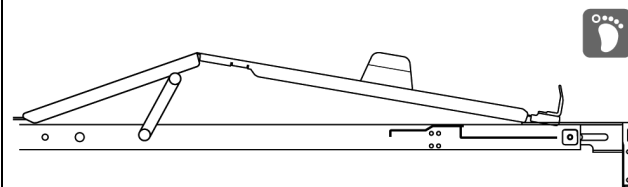
- 足ボトムステーが左右ともステー受に、確実に載っていることを確認してください。

足先さげにするとき

1. 膝・足ボトム（足側）を持ちあげる。
2. 足ボトムステーを膝・足ボトム（足側）裏側の凹み（2ヶ所）に取り付ける。
3. 膝・足ボトム（足側）を降ろす。



足先さげ状態



Note

足ボトムステーが凹み（2ヶ所）に、確実に取り付けられていることを確認してください。

収納カバーの使いかた（樹脂ボード）

収納カバーは、樹脂ボードに付いています。収納カバーを開くと、取扱説明書やノートなどを収納できます。

⚠ 警告

収納カバーに寄り掛かったり、手でつかんで力を加えたりしないでください。

収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

許容寸法や耐荷重を超えるものを入れないでください。

収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。

収納物が収納カバーからとび出た状態にしないでください。

ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。

収納カバーを乱暴に開閉しないでください。

収納物や収納カバーが破損するおそれがあります。

収納カバーにもものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしないでください。

収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。

収納物を取り出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えないでください。

収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。

壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。

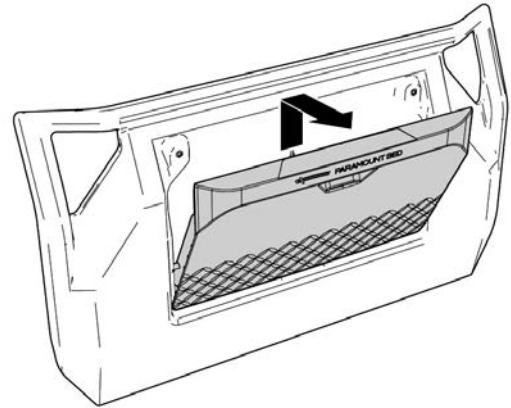
破損するおそれがあります。

収納カバーを開いた状態のままにしないでください。

収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッドの動作時にベッド周りの家具備品・部屋の構造物の一部などに接触して、ベッドや収納物が破損したりするおそれがあります。

使いかた

1. 収納カバーを少し持ちあげ、手前に開く。



許容寸法と耐荷重

許容寸法 [cm]	耐荷重
幅 45×高さ 30×厚み 5	1kg

電源コードの配線

コンセントの方向にあわせて配線してください。

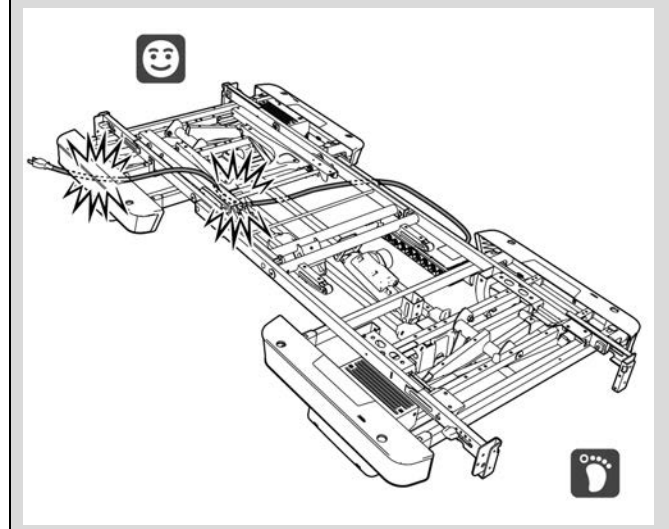


警告

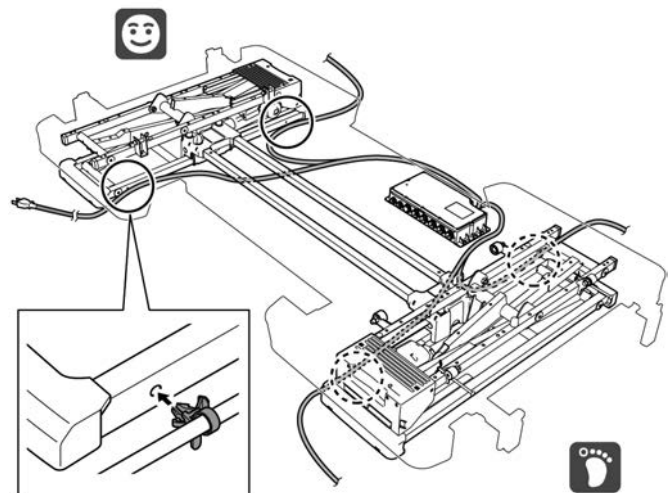
電源コードは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

- ベースフレームの上側や内側に入り込まないように配線してください。
- 脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- ベッドの高さを最高まであげた状態でも突っ張らないように配線してください。



電源コードを出す向きにあわせて、電源コードのクリップをベースフレームの下側フレームの取付穴（4ヶ所）のいずれか1ヶ所に差し込む。

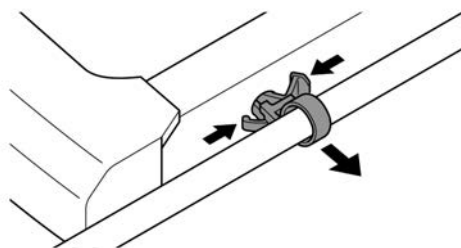


Note

余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように注意して配線してください。

Note

配線する方向を変えるときは、電源コードのクリップをベースフレームから取り外してください。



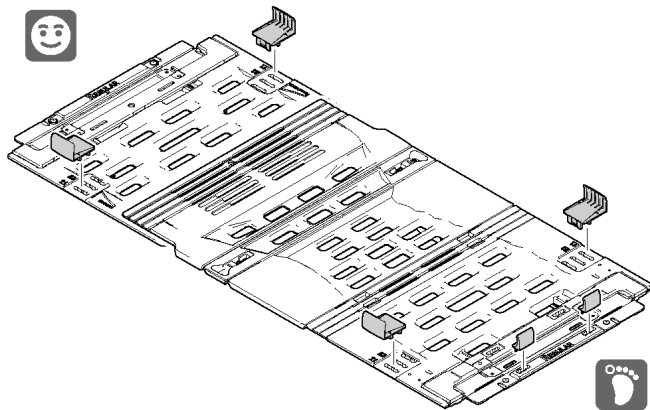
マットレス止めの取り付け／取り外し

Note

マットレスストッパー（別売）をご使用の場合は足側にマットレス止め（小）を取り付けません。付属の取扱説明書を参照してください。

取付位置

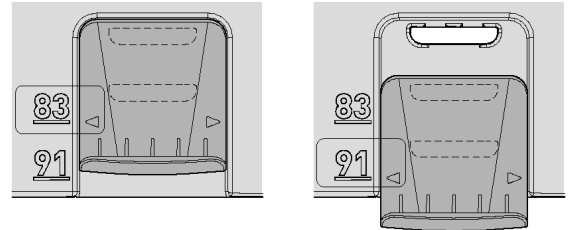
- マットレス止め（大）：背ボトム 左右各 1 ヶ所、膝・足ボトム 左右各 1 ヶ所
- マットレス止め（小）：膝・足ボトム 先端部 2 ヶ所



マットレス止め（大）

取り付け

1. マットレス幅に合わせて、ボトム横側にある取付穴の位置を決める。
2. 取付穴にマットレス止め（大）のツメを真っすぐ差し込む。

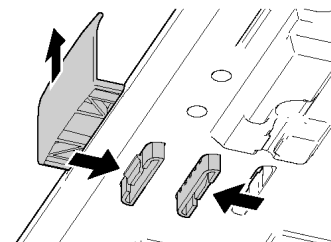


Note

- マットレス止め（大）は 4 ヶ所すべてが同じ位置になっていることを確認してください。
- 「パチッ」と音がするまで差し込んでください。
- 取り付け後、内から外へ軽く押し、確実に取り付けられていることを確認してください。

取り外し

ボトム下に出ているマットレス止め（大）のツメを内側に押しながら取り外す。

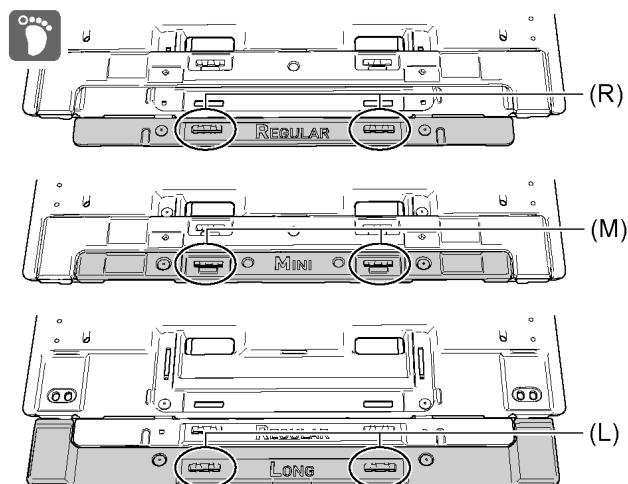


マットレス止めの取り付け／取り外し

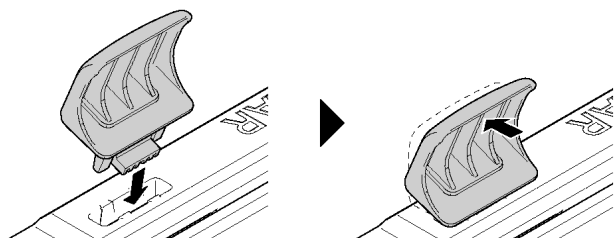
マットレス止め（小）

取り付け

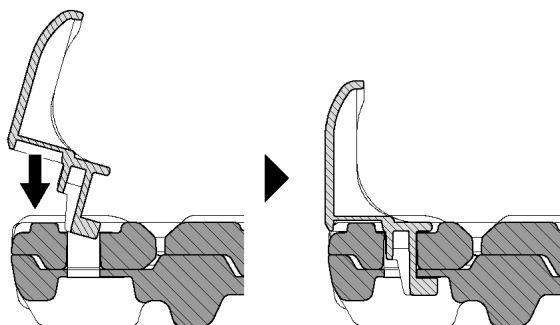
ボトム長さによって取付位置が異なります。正しい位置に取り付けてください。



1. 各ボトム長さに応じた取付穴にマットレス止め（小）のツメを斜めに差し込む。（2ヶ所）
2. 内から外へ押し、しっかりと取り付ける。



※ ミニの場合は、ボトム（先端部）の穴に奥までツメを差し込む。



Note

取り付け後、内から外へ軽く押し、確実に取り付けられていることを確認してください。

取り外し

取り付けの逆の手順でマットレス止め（小）を取り外してください。

ボードの取り付け／取り外し

⚠ 警告

ボードは正しいユニットの組み合わせになっていることを確認したうえで取り付けてください。

誤った組み合わせで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。

⚠ 注意

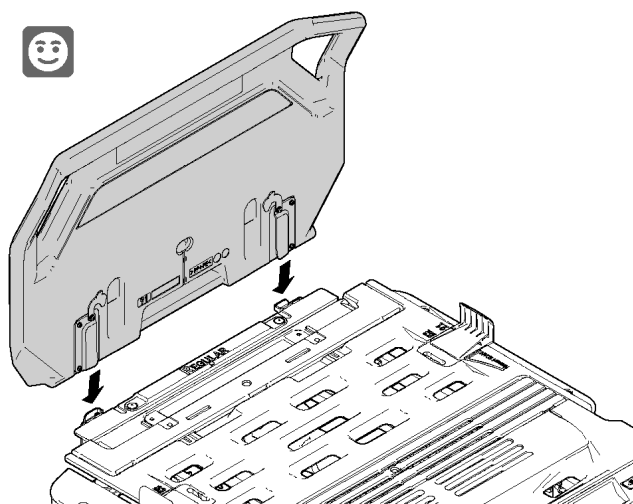
ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。

ボードが不意に外れて、転倒などによりけがをするおそれがあります。

ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。

足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

1. ボードの取付金具をボード受金具にまっすぐ最後まで差し込む。



2. ボードストッパーをボード受金具の穴に差し込み、固定させる。



3. 足側のボードも同じように取り付ける。

フットパネルの取り付け／取り外し

警告

フットパネルをベッドの頭側に取り付けないでください。

- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

フットパネルを取り付けるときは、ボード受金具にしっかりと固定してください。

- フットパネルが落下して、けがをしたりフットパネルが破損したりするおそれがあります。
- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

フットパネルが、指定の取付位置に確実に固定されていることを確認してください。

- フットパネルが落下して、破損したり、けがをするおそれがあります。
- 意図せぬすき間が発生し、はさまれたり、抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

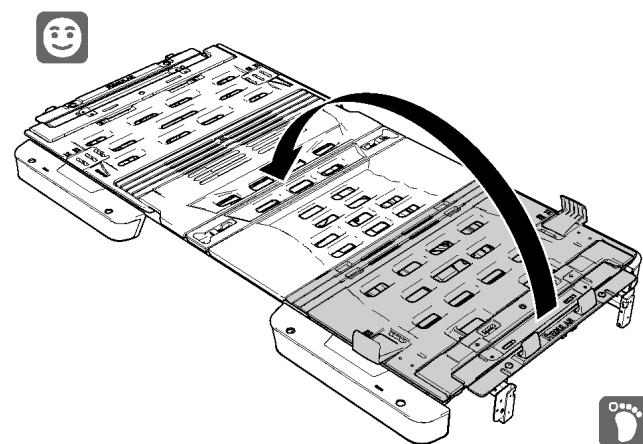
注意

フットパネルの取り付けや取り外しときは、手や指をはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

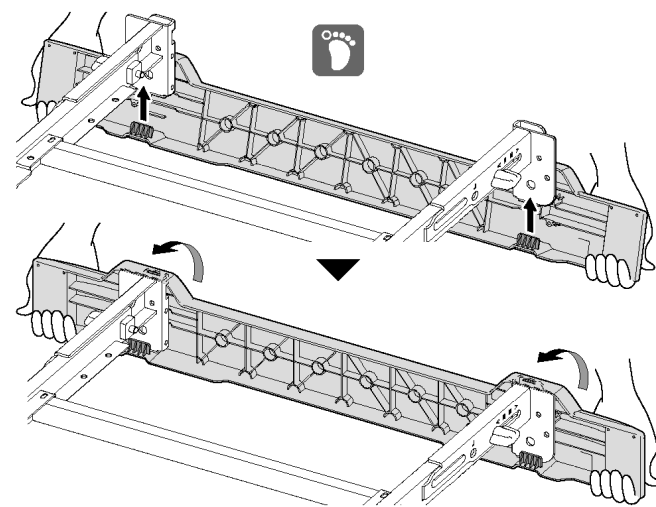
取り付け

1. 膝・足ボトムを矢印の方向へ倒す。



2. 凸部（ロゴがある面）を上に向け、フットパネルの両端を持つ。
3. フットパネル下部にあるツメをボード受金具に下側から引っ掛ける。（2ヶ所）
4. フットパネル上部にあるツメをボード受金具の上部に「パチン」と音がするまで持ちあげながら押し込む。（2ヶ所）

※ ツメが掛かりにくい時は、フットパネルを少し持ち上げるようにしながら押し込んでください。



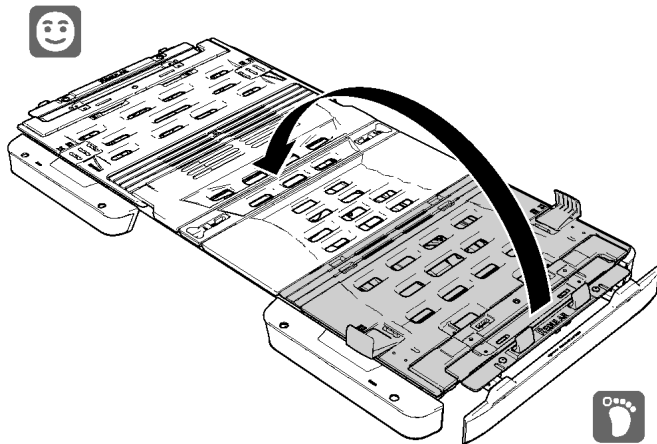
5. 膝・足ボトムを元の位置に戻す。

取り外し

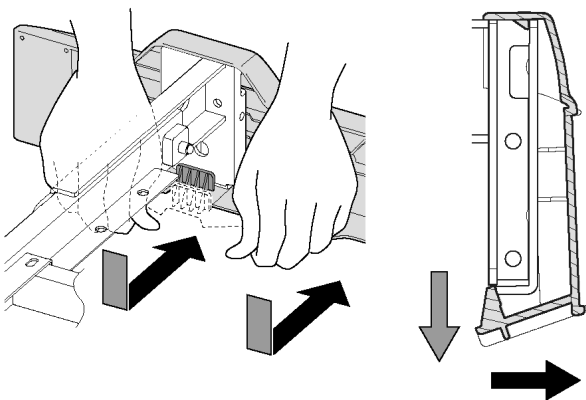
Note

ベッドに利用者がいる場合はベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

1. 膝・足ボトムを矢印の方向へたおす。または膝・足ボトムを外す。



2. フットパネル下部にあるツメの両側を下方向に押し本体をたわませて、ツメを外す。（左右2ヶ所）
3. フットパネルをボード受金具から取り外す。



4. 膝・足ボトムを元の位置に戻す。膝・足ボトムを外した場合は、取り付ける。

適合オプション

適合オプション

本書に記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※ 製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q ➡ KS-161Q を示します。

※ 棚ユニット (KQ-PC00E) のみ製品識別ラベル上は QA0308A と表示されています。



オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。

誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。

記載されているオプション以外は使用しないでください。

意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

Note

適合品は、仕様の変更や組み合わせなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

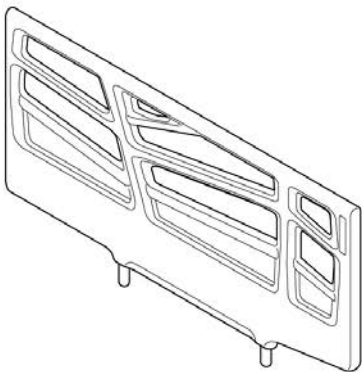
適合表

製品名		品 番
ベッドサイドレール JIS 認証取得	KS-161Q シリーズ	KS-161Q ・ KS-166 ・ KS-126M/W
	KS-171Q シリーズ	KS-171Q ・ KS-176 ・ KS-146M/W
	KS-151Q シリーズ	KS-151Q
	KS-191Q シリーズ	KS-191Q
	KS-111Q シリーズ	KS-111Q ・ KS-116Q
ソフトガードサイドレール JIS 認証取得		KS-019A
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-151QC ・ KS-161QC ・ KS-171QC ・ KS-191QC ・ KS-126MC/WC ・ KS-146MC/WC ・ KS-166QC ・ KS-176QC
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-151QT ・ KS-161QT ・ KS-171QT ・ KS-191QT ・ KS-126MT/WT ・ KS-146MT/WT ・ KS-166QT ・ KS-176QT
キャスター JIS 認証取得		KQ-P70C
ハイトスペーサー JIS 認証取得		KQ-PC00A
ベッド用グリップ JIS 認証取得	スイングアーム 介助バー	KS-099A/B
	サイドグリップ	KS-030A
ソフトカバー付ベッド用 グリップ	サイドグリップ	KS-030AC
ベッドサイドテーブル		KF-1920 ・ KF-1930 ・ KF-1970 ・ KF-1980 ・ KF-1924 ・ KF-1934 ・ KF-1974 ・ KF-1984 ・ KF-282 ・ KF-2923 ・ KF-2933 ・ KF-2973
スマートハンドル		KQ-P70S (※1) ・ NN-2000
IV ポールホルダー		KQ-PC00V
マットレスストッパー		KQ-PC00D
棚ユニット JIS 認証取得		KQ-PC00E
フットパネル JIS 認証取得		KQ-PC01C ・ KQ-PC02C
脚座ゴムシート		KQ-P70K ・ KQ-P732
脚座カーペット		KQ-P731
呼出受信機		KQ-PA0J

※1 KQ-C****S には、同仕様のスマートハンドルが標準で付いています。

ベッドサイドレール

- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
 - 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
 - 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール（KS-019A）や各種カバーをお使いください。



適合表

		全長 (cm)	全高 (cm)	厚さ (cm)	ベッド取付時ボトムからの サイドレール高さ (cm)
ベッドサイドレール	KS-151Q	59	50.5	2.5	37.5
	KS-161Q	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-171Q	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-191Q	83	50.5	2.5	37.5
	KS-126M/W	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-146M/W	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-166	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-176	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-111Q/KS-116Q	98	53.5	2.8	41
ソフトガードサイドレール	KS-019A	102	59	4	45

Note

- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のベッドサイドレールの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のベッドサイドレールとは組み合わせないでください。表以外のベッドサイドレールと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。
- ☞ 仕様(P.102)
- KS-191Q は KS-099A/B・KS-030A と組み合わせる、もしくは単独でベッドサイドに取り付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並列で組み合わせたり、KS-191Q を 2 本並列で使用したりしないでください。
- ☞ 適合オプションの組み合わせと取付位置(P.83)

ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付／クリアカバー付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバーのセットです。
- ソフトカバー／クリアカバーのみでもお求めいただけます。
- 表以外のベッドサイドレールとは組み合わせないでください。

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126MC/WC	KS-126M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146MC/WC	KS-146M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

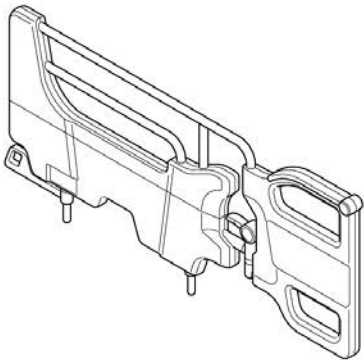
クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15TA
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126MT/WT	KS-126M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146MT/WT	KS-146M/W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

ベッド用グリップ

ベッド用グリップには、スイングアーム介助バーとサイドグリップがあります。

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、利用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドグリップ (KS-030A) ・サイドレール (KS-151Q ・ KS-191Q シリーズ) をお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくした各種ソフトカバーをお使いください。



適合表

		全長 (cm)	全高 (cm)	厚さ (cm)	ベッド取付時ボトムからの ベッド用グリップ高さ (cm)
スイングアーム介助バー	KS-099A/B	112	52.1	4	41
サイドグリップ	KS-030A	82.2	52.3	4	41

※ ベッド用グリップと同じ側で利用できるのは、サイドグリップ (KS-030A) ・サイドレール (KS-151Q ・ KS-191Q シリーズ) のみです。

Note

「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のベッド用グリップの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のベッド用グリップとは組み合わせないでください。表以外のベッド用グリップと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

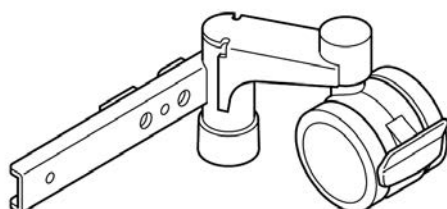
📄 仕様(P.102)

キャスター

キャスターを取り付けると、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。

- ベッドの高さが 3cm 高くなります。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のキャスターの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のキャスターとは組み合わせないでください。表以外のキャスターと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

📖 仕様(P.102)



適合表

キャスター
KQ-P70C

ハイトスペーサー

- ベッドの高さが 7cm 高くなります。
- ハイトスペーサーを取り付けたとき、手元スイッチで高さ表示切替が可能です。
- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表のハイトスペーサーの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外のハイトスペーサーとは組み合わせないでください。表以外のハイトスペーサーと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

📖 仕様(P.102)

適合表

ハイトスペーサー
KQ-PC00A

ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組み合わせないでください。
- ソフトカバー単体でもお求めいただけます。

適合表

ソフトカバー付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

適合オプション

ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。



ベッドサイドテーブル適合表

ベッドサイドテーブル
KF-1920・KF-1930・KF-1970・KF-1980・KF-1924・ KF-1934・KF-1974・KF-1984・KF-282・KF-2923・ KF-2933・KF-2973

警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。

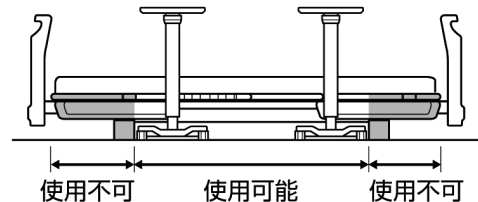
背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

注意

図はベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。（ 部分は使用不可）ベッドサイドテーブルは床高を 24cm 以上にして、この範囲で使用してください。

KF-282 を使用する場合は、床高を 24cm 以上にしてください。床高が 24cm 未満または図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。

使用可能範囲寸法は 107cm です。



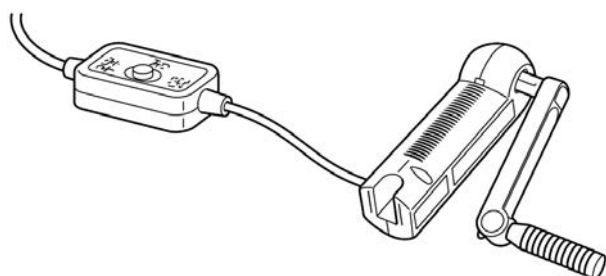
ベッドにベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近ではベッドサイドテーブルを使用できません。

スマートハンドル

災害などによる停電時やベッドの故障などの緊急時に「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高さ（頭側）さげ」ができます。

※ ベッドの故障によっては、操作ができない場合があります。

※ 品番の末尾に「S」が付いているベッド（KQ-C****S）は、スマートハンドル（KQ-P70S）が標準で付いています。

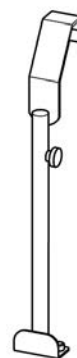


適合表

スマートハンドル
KQ-P70S・NN-2000

IV ポールホルダー

多機能ボードに取り付けることで、IV ポール（別売）が使用できます。



適合表

IV ポールホルダー
KQ-PC00V

警告

IV ポールをご使用になる場合、IV ポールホルダーをご使用になり、IV ポールホルダー以外には IV ポールを取り付けしないでください。

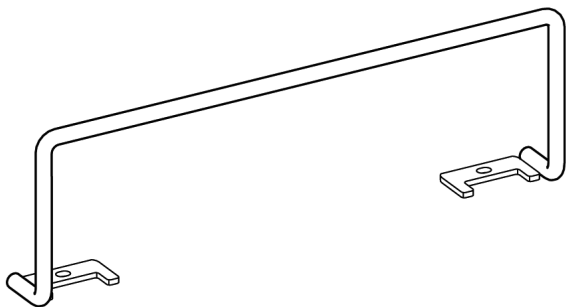
意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

適合オプション

マットレスストッパー

フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用する際に、エアマットレスの落下防止をします。

※ 弊社適合エアマットレスのみ組み合わせてください。適合エアマットレスに関してはマットレスストッパー本体をご確認ください。



適合表

マットレスストッパー
KQ-PC00D

棚ユニット

樹脂ボードに取り付けて、小物などを置くことができます。またコンセントでスマートフォンなどの充電もできます。



適合表

棚ユニット
KQ-PC00E

警告

棚ユニットを適合品以外のボードに載せて使用しないでください。

棚ユニットが固定できないため、不意に落下して、けがや破損のおそれがあります。

収納力バーを取り付けた状態で、棚ユニットを取り付けしないでください。

収納力バーにぶつかってけがをしたり、ベッド動作時に周囲のものに当たり、破損・変形したりするおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、ケーブル類の上に棚ユニットを置かないでください。

ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

ベッドの高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。

あげた状態で配線しないと高さをあげたときに電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、棚ユニットの電源コードをはさまないように注意してください。

ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットを取り付けるときは、ボルトでボードにしっかりと固定してください。

棚ユニットが落下して、けがをしたり棚ユニットが破損・変形したりするおそれがあります。

棚ユニットの電源コードは、ベッドへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。

電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットの電源コード・電源プラグは正しく配線してください。

間違った配線をする、手・足などが引っかかりけがをするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。

ボードと棚ユニットがしっかりと固定されているか確認してください。

棚ユニットが落下して、けがをしたり棚ユニットが破損・変形したりするおそれがあります。

 警告

2つのケーブルクランプは、できるだけ離れた位置でたるみなく取り付けてください。詳細は付属の取扱説明書を参照してください。

- 近い位置で固定すると電源コードがたるみ、足を引っ掛けて転倒しけがをするおそれがあります。また、ベッドサイドテーブルなどの脚が引っ掛かり電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ケーブルクランプが破損する原因となります。

棚ユニットの電源コードを無理に引っ張ったり、引っ張った状態で固定したりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットの電源コードは、たるみのないように配線してください。また、ベッドの可動部にはさまれないように配線してください。

電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。詳細は付属の取扱説明書を参照してください。

棚ユニットのコンセントに差した電源プラグや棚ユニットの電源コードに無理な力を加えないでください。

電源プラグや電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

棚ユニットのコンセントに水分やほこりを付着させないでください。

コンセントの表面に水分やほこりが付着していると、火災や感電のおそれがあります。また、故障の原因となります。コンセントの表面に水をこぼしたり、ほこりが付着したりしている場合は、棚ユニットの電源プラグを抜き、乾いた布などですぐに拭き取ってください。

棚ユニットのコンセントを使用するときは、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。

水分やほこりが付着すると、火災や感電のおそれがあります。

棚ユニットに手をついたり、寄りかかったりしないでください。

棚ユニットが破損して、けがをするおそれがあります。

濡れた手で棚ユニットのコンセントに触れないでください。

感電したり、故障したりするおそれがあります。

ベッドの電源を棚ユニットのコンセントからとらないでください。

電源コードがベッドの可動部にはさまれて、破損するおそれがあります。

棚ユニットを取り外すときに、電源プラグや電源コードに無理な力を加えないでください。

電源プラグや電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

 注意

ベッドの動作時は、棚ユニットの上に置いたものの落下に注意してください。

落下物がぶつかってけがをするおそれがあります。

また、落下によりものが破損したり、ゆかが傷ついたりするおそれがあります。

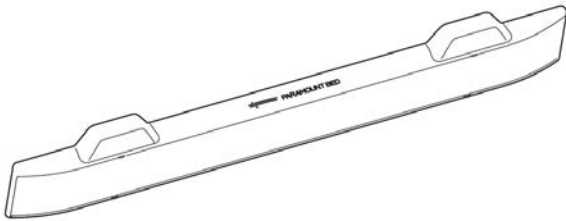
Note

- 「仕様」の JIS 認証取得マークがあるベッドと表の棚ユニットの組み合わせは、JIS 認証を取得しています。表以外の棚ユニットとは組み合わせないでください。表以外の棚ユニットと組み合わせた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.102)

フットパネル

ボードの代わりに取り付けることで、足側からの介護がしやすくなります。



適合表

フットパネル
KQ-PC01C・KQ-PC02C



体位を自分で保持できない方は使用しないでください。

転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

フットパネルを手すり代わりにしたり、足をかけて乗り降りしたりしないでください。

- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

フットパネルに足をかけて乗り降りしないでください。

- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

弊社の適合エアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー (KQ-PC00D) を取り付けてください。

エアマットレスが落下して転落・転倒し、けがをするおそれがあります。

フットパネルを持って、ベッドを移動しないでください。

- フットパネルが不意に外れ、転倒などしてけがをするおそれがあります。
- フットパネルに大きな力がかかり、フットパネルが破損・変形するおそれがあります。



フットパネルの角に注意してください。

足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

フットパネルにものを引っ掛けないでください。

フットパネルが破損・変形するおそれがあります。

Note

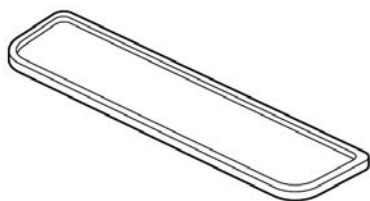
仕様のJIS認証取得マークがあるベッドと表のフットパネルの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外のフットパネルとは組み合わせないでください。表以外のフットパネルと組み合わせた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

☞ 仕様(P.102)

脚座ゴムシート

ベッド本体のすべり止めや、脚座やキャスターによるゆか面への傷つき防止用に使用します。

※ KQ-P732（キャスター用）は、脚座の下には使用できません。キャスター（KQ-P70C）取付時に使用してください。



適合表

脚座ゴムシート
KQ-P70K・KQ-P732

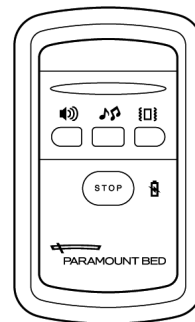
警告

ハイトスペーサーには使用しないでください。ハイトスペーサーには専用の脚座ゴムシートがあります。

- ハイトスペーサーが外れ、ベッドが傾いたり落下し、転落・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形してけがをするおそれがあります。

呼出受信機

利用者が手元スイッチの呼出ボタンを押したときに、スマートフォンの代わりに通知を受けることができます。



適合表

呼出受信機
KQ-PA0J

適合オプションの組み合わせと取付位置

適合オプションの組み合わせと取付位置

適合オプションの組み合わせと取付位置は、図を参照して正しく取り付けてください。正しい組み合わせと取付位置を「○」で、誤った組み合わせと取付位置を「×」で表しています。



ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組み合わせを確認した上でご使用ください。
意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

Note

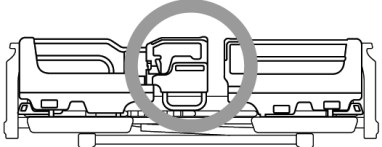
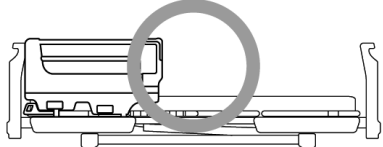
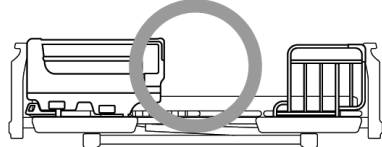
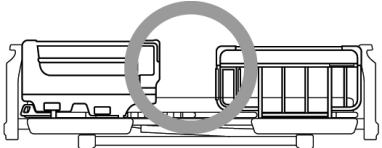
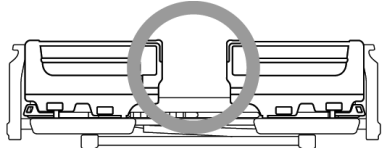
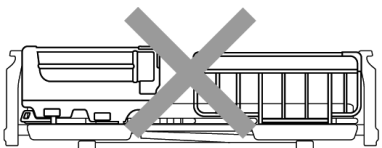
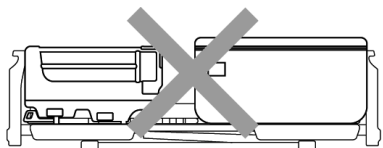
- 正しい組み合わせと取付位置については、モーター数・サイズ（ボトム幅・長さ）・デザイン（ボードタイプ）に関わらず全機種共通です。
- 各オプションにソフトカバーやクリアカバーを取り付けた場合の正しい組み合わせと取付位置も同じです。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

ベッド用グリップを使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

● KS-099A/B	● KS-099A/B + ● KS-151Q	● KS-099A/B + ● KS-191Q
● KS-099A/B + ● KS-099A/B	● KS-099A/B + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ	● KS-099A/B + ● KS-019A

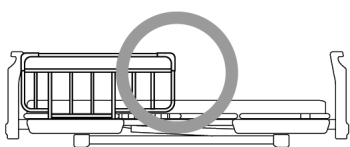
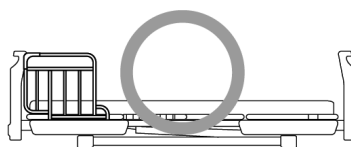
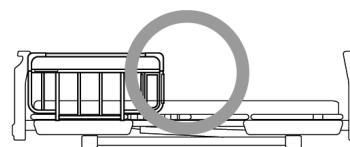
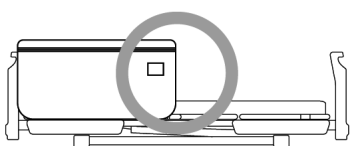
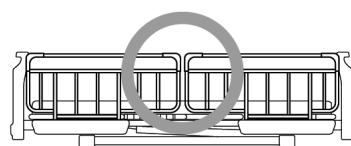
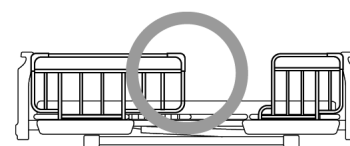
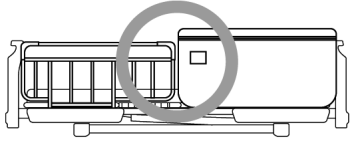
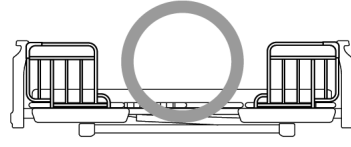
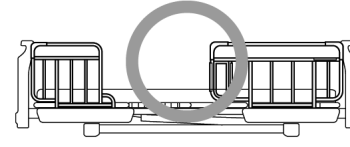
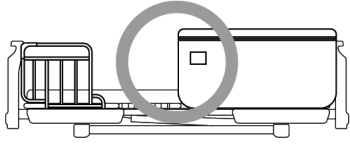
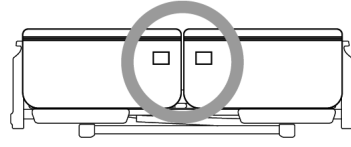
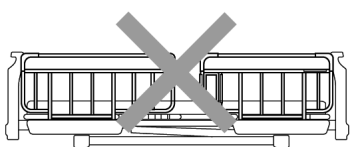
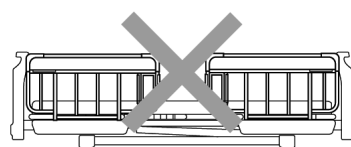
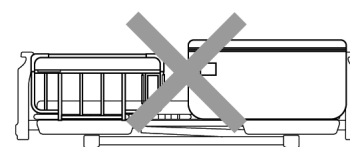
適合オプションの組み合わせと取付位置

● KS-099A/B + ● KS-030A 	● KS-030A 	● KS-030A + ● KS-151Q 
● KS-030A + ● KS-191Q 	● KS-030A + ● KS-030A 	
● KS-030A + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-030A + ● KS-019A 	

適合オプションの組み合わせと取付位置

ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組み合わせでは高さに差が生じる場合があります。

● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-151Q 	● KS-191Q 
● KS-019A 	● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ + ● KS-151Q 
● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ + ● KS-019A 	● KS-151Q + ● KS-151Q 	● KS-151Q + ● KS-191Q 
● KS-151Q + ● KS-019A 	● KS-019A + ● KS-019A 	
● KS-191Q + ● KS-161Q シリーズ ● KS-171Q シリーズ ● KS-111Q シリーズ 	● KS-191Q + ● KS-191Q 	● KS-191Q + ● KS-019A 

適合マットレス

適合マットレス



マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。

ボトムのスき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。

このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組み合わせてご使用ください。

弊社が指定する適合品以外のマットレスと組み合わせると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりするおそれがあります。

Note

- 詳細な取り扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- ロングサイズのベッドには、レギュラーサイズのマットレスと、適合する延長マットレスと合わせて使用してください。

スタンダードマットレス

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ (cm)	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
ソフティア (通気)	KE-264T	KE-262T	KE-263T	KE-261T	8
プレグラ-STR (通気)	KE-514T	KE-512T	KE-513T	KE-511T	8
プレグラ- (通気)	KE-5531Q	KE-5511Q	KE-553Q	KE-551Q	
エバーリーフ 7 (通気)	KE-544T	KE-542T	KE-543T	KE-541T	7
エバーリーフ 7 (清拭)	-	-	KE-543S	KE-541S	
ポケットコイル	-	-	RB-ZA83P	RB-ZA91P	13.5
クレーター	-	-	KE-763	KE-761	9
ウレタンフォーム	-	-	KE-253	KE-251	8

適合マットレス

ハイ・スタンダードマットレス

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ (cm)	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
ストレッチフィットⅡ (通気)	KE-7A4T	KE-7A2T	KE-7A3T	KE-7A1T	10
ストレッチフィットⅡ (清拭)	-	-	KE-7A3S	KE-7A1S	
ストレッチフィットⅡ (さらドライ)	-	-	KE-7A3N	KE-7A1N	
ストレッチフィットⅡ (ドライ)	-	-	KE-7A3U	KE-7A1U	
ストレッチフィットⅡ (抗ウィルス)	-	-	KE-7A3V	KE-7A1V	
エバーフィット C3 (清拭)	KE-614SQ	KE-612SQ	KE-613SQ	KE-611SQ	10
エバーフィット C3 (通気)	KE-614TQ	KE-612TQ	KE-613TQ	KE-611TQ	
エバーフィット C3 (ドライ)	KE-614UQ	KE-612UQ	KE-613UQ	KE-611UQ	
エバーフィット C3 (抗ウィルス)	-	-	KE-613V	KE-611V	
エバーリーフ	-	-	KE-533	KE-531	9

床ずれ防止マットレス (静止型：ウレタンフォーム)

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ (cm)	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
ストレッチグライドⅡ (通気)	KE-7B4T	KE-7B2T	KE-7B3T	KE-7B1T	12.5
ストレッチグライドⅡ (ドライ)	-	-	KE-7B3U	KE-7B1U	
ストレッチグライドⅡ (さらドライ)	-	-	KE-7B3N	KE-7B1N	
ストレッチグライドⅡ (抗ウィルス)	-	-	KE-7B3V	KE-7B1V	
エバーブラウド (清拭)	KE-624SQ	KE-622SQ	KE-623SQ	KE-621SQ	13
エバーブラウド (通気)	KE-624TQ	KE-622TQ	KE-623TQ	KE-621TQ	
エバーブラウド (ドライ)	KE-624UQ	KE-622UQ	KE-623UQ	KE-621UQ	
エバーブラウド (抗ウィルス)	-	-	KE-623V	KE-621V	

床ずれ防止マットレス（圧切替型：エア）

Note

フットパネルを取り付けたベッドでエアマットレスを使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を取り付けてください。

ベッドサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚（cm）
	83cm 幅	91cm 幅	83cm 幅	91cm 幅	
マットレスサイズ幅×長さ（cm）	83×180	91×180	83×191	91×191	
品名	品番				
エアマットレスここちあ風香（清拭）※2	-	-	KE-953M	KE-951M	13
エアマットレス ここちあ利楽（清拭）	KE-974S	KE-972S	KE-973S	KE-971S	
エアマットレス ここちあ利楽（通気）	KE-974T	KE-972T	KE-973T	KE-971T	
エアマットレス ここちあ利楽 flow（清拭）※1	KE-914S	KE-912S	KE-913S	KE-911S	17
エアマットレス ここちあ利楽 flow（通気）※1	KE-914T	KE-912T	KE-913T	KE-911T	

※1 ベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Q シリーズ・KS-111Q シリーズ・KS-019A・KS-099A/B・KS-030A をご使用ください。

※2 フットパネルを取り付けたベッドには使用できません。

延長マットレス

※ ベッドをロングサイズで使用する場合は、レギュラーサイズマットレスと、適合する延長マットレスと合わせて使用してください。

※ 延長マットレスはエアマットレスには適合しません。

ベッドサイズ	83cm 幅	91cm 幅	延長マットレス厚 (cm)	適合マットレス
品名	品番			
延長マットレス	KE-553L	KE-551L	8.0	厚さ 8cm (プレグラーマットレス・プレグラーSTR マットレスに適合)
	KE-L113	KE-L111	9.5	厚さ 7～10cm の弊社マットレス
	KE-L123	KE-L121	12.5	厚さ 11～13cm の弊社マットレス

電動介護リフトの使用上のご注意

電動介護リフト（床走行式リフト/ベッド設置式リフト）は、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

適合表

電動介護リフト
KQ-781・KQ-787・KQ-788S・KQ-788L

⚠ 警告

電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。

誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。

- ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
- ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
- ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っかかり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドと電動介護リフトの脚やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込んでいるときは、電動介護リフト（床走行式）のキャスターのロックを掛けないでください。

ベッド操作のときにベッドと電動介護リフト（床走行式）の脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフト（床走行式）が転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフト（床走行式）が破損・変形したりするおそれがあります。

電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。

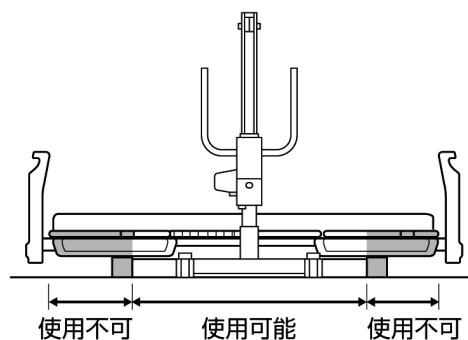
電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

電動介護リフト（床走行式）は使用可能な範囲で使用してください。（ 部分は使用不可）

図の範囲外で使用すると、電動介護リフト（床走行式）が破損・変形するおそれがあります。

使用可能範囲寸法は 107cm です。



ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では電動介護リフトを使用できません。

Note

仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

緊急時のベッド操作

停電時やベッドの故障時にベッドを操作する場合は、以下の方法で行ってください。

乾電池使用による操作

コントロールボックスに乾電池をセットすることで、停電時でも電動で背・膝ボトムをさげることができます。

 乾電池使用での背さげ・膝さげ(P.91)

手動による操作

停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

 手動での背さげ／戻しかた(P.92)

スマートハンドルによる操作

停電やベッド故障時にスマートハンドルをアクチュエーターのケーブルに接続して、ベッドの操作を行うことができます。

 スマートハンドルの使いかた(P.94)

Note

停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、ベッドのチェックを行い、故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

乾電池使用での背さげ・膝さげ

乾電池はお客様自身で用意してください。

使用する乾電池：角型 9V アルカリ乾電池 2 個

注意

接続ケーブルを強く引っ張らないでください。

断線するおそれがあります。

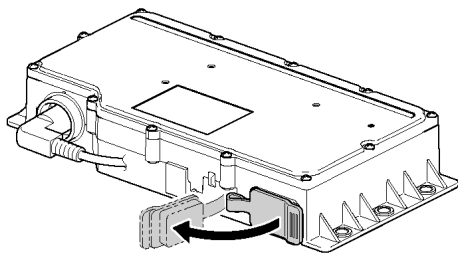
乾電池を接続ケーブルに付けたままにしないでください。

劣化して液漏れで汚れたり、故障のおそれがあります。

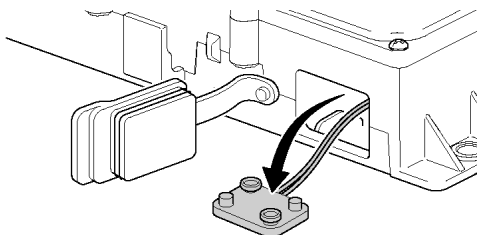
Note

- 新品のアルカリ乾電池をご用意ください。消耗している乾電池の場合、動作できないおそれがあります。
- 乾電池が外れないようにしっかりと取り付けてください。
- 背さげ・膝さげ以外のベッド操作は乾電池による動作の対象外です。ボタンの押し間違いにご注意ください。
- 乾電池によるベッド操作は、手元スイッチのみで行います。

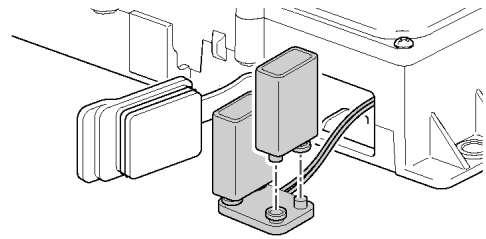
1. コントロールボックスのキャップを開ける。



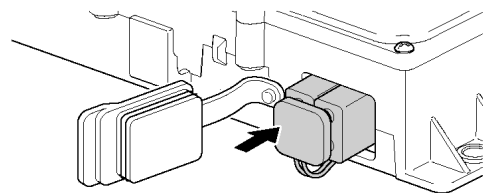
2. 接続ケーブルを引き出す。



3. 乾電池を接続ケーブルに取り付ける。



4. 乾電池を収納する。



5. 手元スイッチを操作して、ベッドをフラット状態にする。

6. 逆の手順で乾電池を取り外し、キャップを閉じる。

手動での背さげ／戻しかた

⚠ 注意

作業は2人以上で行ってください。

手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜いて、作業を行ってください。

ベッドが不意に動き、けがをするおそれがあります。

背ボトムを持って作業を行わないでください。

作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。
背ボトムが不意に動いて、背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

作業の際は手袋などをしてからおこなってください。

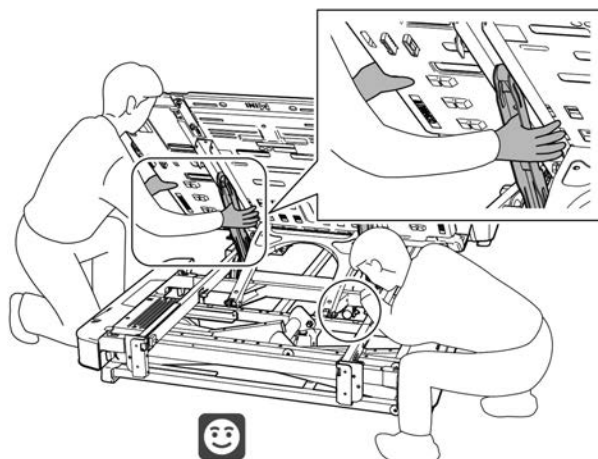
背ボトムが不意に動くなどしてけがをするおそれがあります。

使用する工具

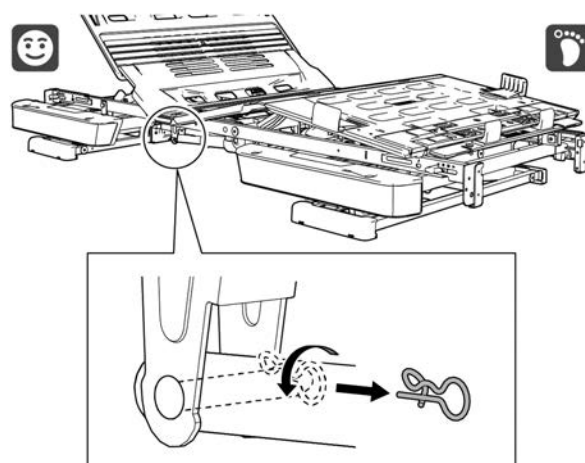
ラジオペンチまたはプライヤー（小）

背さげのしかた

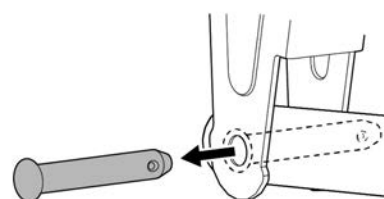
1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
3. 頭側のボードを取り外す。
4. 背ボトムの腰側と背あげリンクを支える。



5. 図の矢印方向にひねり、スナップピン（赤）を取り外す。

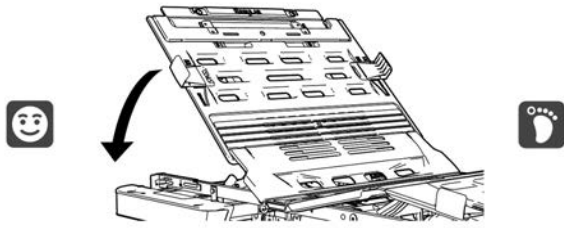


6. 背アクチュエーターを手で支えながら連結ピンを取り外す。背あげリンクが自由に動きます。



手動での背さげ／戻しかた

7. 背ボトムをゆっくり降ろす。



8. 頭側のボードを取り付ける。

Note

- スナップピンを取り外す際は、ラジオペンチなどで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと取り外しが容易です。
- 取り外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。
- 作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

戻しかた

停電時に手動で背さげを行った場合は、電源の復帰後、「背さげのしかた」の手順を逆に行ってベッドを元の状態に戻してください。

Note

連結ピンは、手動で背さげしたときに取り外したものを使用してください。

⚠ 注意

スナップピンは、再利用しないでください。
ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。
新しいスナップピンは、パラテクノコールセンター
までご依頼ください。

スマートハンドルの使いかた

スマートハンドル（KQ-P70S・NN-2000）をベッドに取り付けると「背あげ／背さげ」「膝あげ／膝さげ」「高ささげ（頭側）」の操作ができます。

本書では、スマートハンドル（KQ-P70S）が標準で付いているベッド（KQ-C****S）について記載しています。それ以外のベッドでのスマートハンドルの使い方は、それぞれのスマートハンドルの取扱説明書をご覧ください。

注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

スマートハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

※ スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。

ハンドルの取り出し

ハンドルは収納ケースに入っています。収納ケースは、ベッド足側の膝・足ボトムの下に取り付けられています。

注意

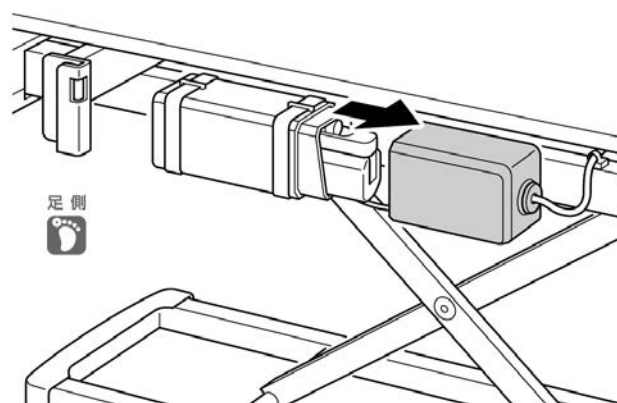
収納ケースのフタを開けるときは、ゆっくりと開けてください。

勢いよく開けると、収納ケースの中のハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

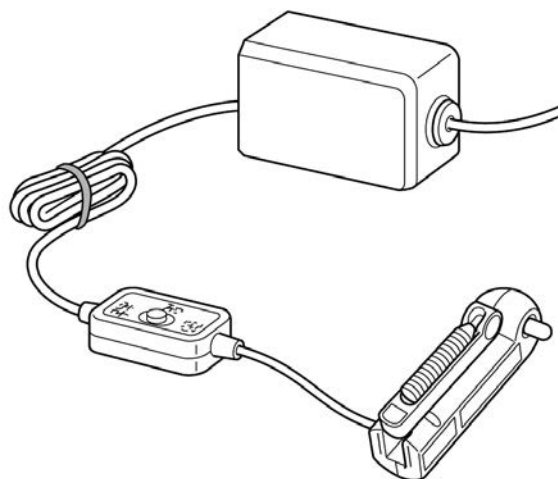
Note

手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。

1. ベッドの電源プラグをコンセントから抜く。
2. フットボードを取り外す。
3. 収納ケースのフタを矢印の方向に開ける。



4. 収納ケースからハンドル本体、フタからケーブルと切換スイッチを取り出す。
5. ケーブルバンドを外す。



スマートハンドルの使いかた

ハンドルの操作

1. 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせる。

背あげ／背さげ



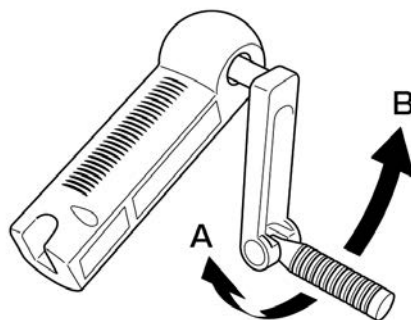
膝あげ／膝さげ



高ささげ



2. ハンドルグリップを矢印方向に回す。
ベッドが動きます。



	矢印 A	矢印 B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さ（頭側）がさがる

※ 高さ（足側）のあげる・さげるの操作はできません。

ハンドルの収納

「ハンドルの取り出し」と逆の手順でスマートハンドルを収納ケースに入れて保管してください。

注意

ハンドル収納後は、収納ケースのフタが確実に閉まっていることを確認してください。

ハンドルが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。

取り付け後の確認

Note

本ユーザーガイドには、「組立手順」および「分解手順」を記載しておりません。詳細な組立・分解手順につきましては、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

ベッドの組み立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、下記を点検してください。

- 定期点検のときも、この項目を使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

📞 お問い合わせ先(P.122)

警告

組み立て後は点検を行ってください。

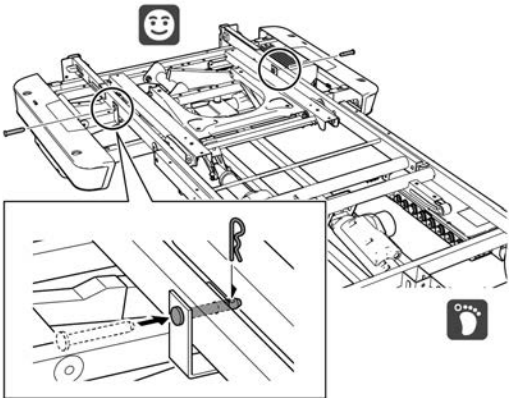
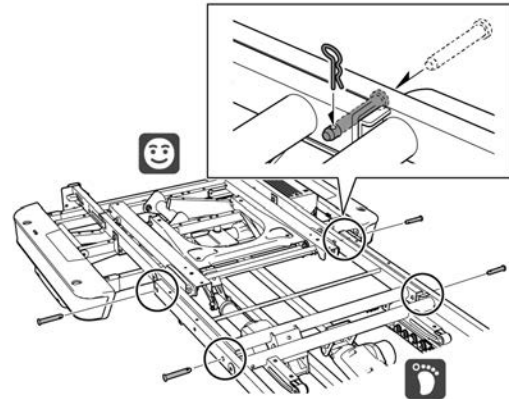
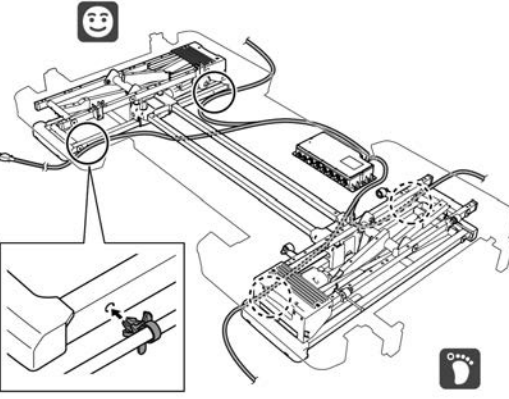
組み立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。

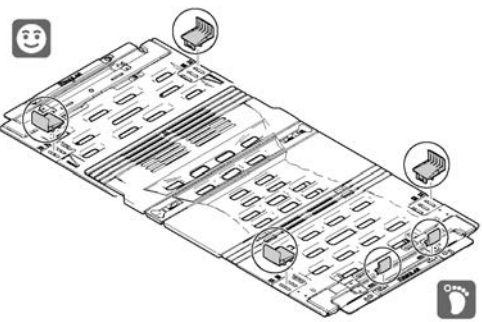
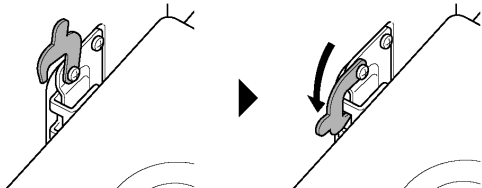
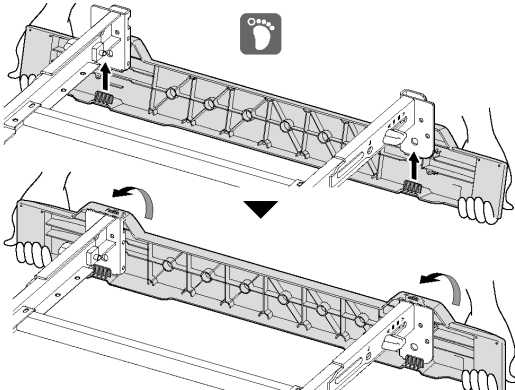
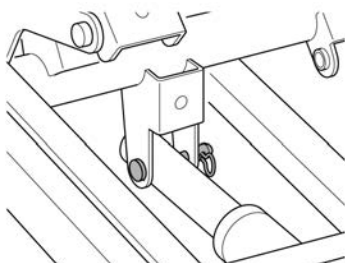
注意

点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止してください。

けがや破損のおそれがあります。パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

取り付け後の確認

チェック項目	チェック部位
連結ピン・スナップピンの取り付け ☐ 連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？  手元スイッチコードの配線(P.115)	 
電源コードの接続 ☐ コードはベースフレームの外側に配線されていますか？ ☐ フットボードよりも頭側で配線する場合、コードがクリップに留まっていますか？ ☐ 可動部と接触していませんか？ ☐ 脚座やキャスターなどで踏んでいませんか？ ☐ ベッド高さを最低から最高まで操作したとき、コードが引っ張られることはありませんか？  電源コードの配線(P.65)	

チェック項目	チェック部位
マットレス止めの取り付け ☐ ボトムにしっかりと取り付けられていますか？（大 4 ヶ所：小 2 ヶ所） ☐ マットレス止め（大）はボトム幅に合わせて、すべて同じ位置になっていますか？  マットレス止めの取り付け／取り外し(P.66)	
ボードの取り付け状況の確認 ☐ ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？（頭・脚側各 2 ヶ所） ☐ ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？（頭・脚側各 2 ヶ所） ☐ いちじるしいがたつきがありませんか？  ボードの取り付け／取り外し(P.68)	
フットパネルの取り付け状況の確認 ☐ フットパネルがボード受金具にしっかりと固定されていますか？ ☐ いちじるしいがたつきがありませんか？  フットパネルの取り付け／取り外し(P.69)	
コード類の傷 ☐ プラグやコード類に傷などがありますか？ ➔ 傷などがある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。	
連結ピン・スナップピンの確認 ☐ 背アクチュエーター先端の連結ピンにスナップピンが確実に差し込まれていますか？ ➔ 異常がある場合は、販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。	

 お問い合わせ先(P.122)

 故障かなと思ったら(P.110)

日常のお手入れ

定期点検

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、「組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

日常のお手入れ

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

警告

お手入れや掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。

ベッドに水をかけて掃除しないでください。

ショートして感電するおそれがあります。

注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

手や足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

ベッド本体

汚れの落とし方

1. 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭く。
2. 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取る。
3. 乾いた布で残った水分を拭き取る。

消毒のしかた

下記の消毒剤を指定の濃度や消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	～0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	～0.05%

Note

- 別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。
- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

注意

揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。

変色・変質するおそれがあります。

消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。

破損・変質のおそれがあります。

中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。

水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

樹脂部品を上記薬品で清拭する場合は、薬品を含ませた布を固くしぼってから清拭してください。

変色のおそれがあります。

オプション／マットレス

各製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

長期保管

長期にわたりベッドを使用しない場合

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。温度－10～50℃、湿度 30～90% RH の環境で保管してください。
- 取扱説明書は、紛失しないように大切に保管してください。

組んだベッドを保管する場合

- すべてのボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

分解して保管する場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「分解手順」に従って分解し、保管してください。使用を再開する場合は、「組立手順」に従って正しく組立てた後、「組立後の点検」に従って点検してください。

移動（移設）

組んだベッドを移動（移設）する場合



移動（移設）するときは、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で持ってください。

オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。

ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



オプション受のカバー上部や両端を持たないでください。

カバーが破損してけがをするおそれがあります。

オプション受を持つときは、カバー裏面の突起部分に指などを触れないでください。

けがをするおそれがあります。

棚ユニット（別売）を持って、ベッドを移動させないでください。

棚ユニットやボードが破損するおそれがあります。

ベースフレームの脚座（4ヶ所）が、ゆかから離れていることを確認してから移動（移設）してください。

ベッドを持ちあげるとベッド高さがあがります。脚座が当たり、ゆかを傷つけるおそれがあります。

ベッドを持ちあげるときは、ベッドの頭側と足側が水平になるように持ちあげてください。

ベースフレームが引っ掛かったまま持ちあがり、不意にベースフレームがさがってけがをしたり、ゆかを傷つけたりするおそれがあります。

キャスターを使用する場合は、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。

故障の原因となります。また、ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。

- 背や腰などを痛めないように、少なくとも4人で運んでください。
- ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプションを取り外してください。
- オプション受がしっかりと固定されていることを確認し、頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部（オプション取付穴の間）のフレーム部を持って運んでください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。
- 棚ユニット（別売）をご使用の場合は、棚ユニットの電源コードをコンセントから外し、棚ユニットの上にものがない状態にしてください。

分解して移動（移設）させる場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「分解手順」に従って分解してください。使用を再開する場合は、「組立手順」に従って正しく組立てた後、「組立後の点検」に従って点検してください。

ベッド本体

ベッド品番 QR コード

本書に記載のない品番については、右記 QR コードから確認できます。



全機種共通仕様

主な材質	ボトム		ポリプロピレン
	足・頭側フレーム	本体	スチール製...電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）
		オプション受カバー	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート
	ベースフレーム		スチール製...電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）
最大利用者体重			138kg
安全動作荷重※1			174kg（1700N）
最大マットレス厚※2			14（17cm）
動作保証条件		温度/湿度	10～40℃/30～75%RH
電源コード長さ			有効長さ 2.5m
耐用期間（予想耐用期間）			8 年 自己認証（当社データ）による※ただし消耗品は除く

※1 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。（利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重）

※2 ベッドサイドレール（KS-151Q・161Q・191Q シリーズ）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。
（ ）寸法は、ベッドサイドレール（KS-171Q・111Q シリーズ・KS-019A）、ベッド用グリップ（KS-099A/B・KS-030A）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

注）JIS 規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

- KS-151Q・161Q・191Q シリーズ：15cm
- KS-099A/B・KS-030A・KS-111Q シリーズ：18cm
- KS-171Q シリーズ・KS-019A：21cm

※ 上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※ KS-151Q・161Q・171Q・191Q・111Q シリーズの詳細につきましては「適合表」を参照してください。

📖 仕様(P.102)

ベッド本体

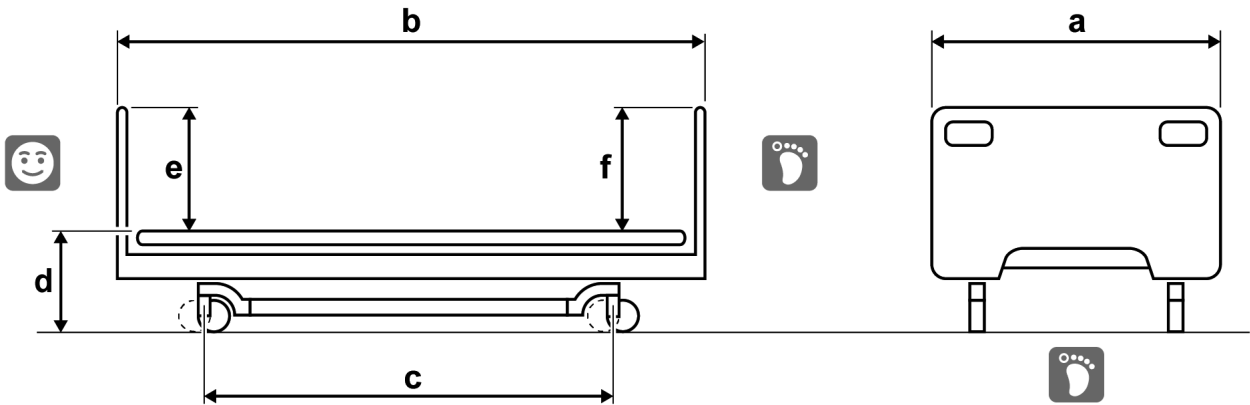
電装品

形式	リニアアクチュエータ（DC モーター）
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：60W 以下 膝あげ：140W 以下 高さ調節：245W 以下 連動あげ：255W 以下
待機電力	2W 以下
最大連続使用時間	3 分（休止時間 57 分※3）
動作音	65dB 以下

※3 ベッドを最大連続使用時間（3 分）動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間。

各部の寸法

項 目		箇 所
a	全幅	最大外形寸法
b	全長	最大外形寸法
c	キャスター間の長さ	キャスターの旋回軸間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム上面（最低高さ～最高高さ）
e	ボードの高さ	ボトム上面～ボード上端
f	ボードの高さ	ボトム上面～ボード上端



ラクリア 3 モーション（ラクリア・背・ひざ・高さ）（樹脂ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C61*1/ KQ-C61*1A/	KQ-C61*B/ KQ-C61*BA/	KQ-C61*2/ KQ-C61*2A/	KQ-C61*C/ KQ-C61*CA/
	品番※4	KQ-C61*1S/ KQ-C61*1B/	KQ-C61*BS/ KQ-C61*BB/	KQ-C61*2S/ KQ-C61*2B/	KQ-C61*CS/ KQ-C61*CB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.なし	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C63*1/ KQ-C63*1A/	KQ-C63*B/ KQ-C63*BA/	KQ-C63*2/ KQ-C63*2A/	KQ-C63*C/ KQ-C63*CA/
	品番※4	KQ-C63*1S/ KQ-C63*1B/	KQ-C63*BS/ KQ-C63*BB/	KQ-C63*2S/ KQ-C63*2B/	KQ-C63*CS/ KQ-C63*CB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.なし	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21～64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ（10 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0～75°[+7.5°,-5°]/34 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0～30±3°/13 秒（普通）・10 秒（速い）			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒（普通）・25 秒（速い）			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

📄 仕様(P.102)

ベッド本体

ラクリア 3 モーション（ラクリア・背・ひざ・高さ）（木目ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C61*4/ KQ-C61*4A/	KQ-C61*D/ KQ-C61*DA/	KQ-C61*5/ KQ-C61*5A/	KQ-C61*E/ KQ-C61*EA/
	品番※4	KQ-C61*4S/ KQ-C61*4B/	KQ-C61*DS/ KQ-C61*DB/	KQ-C61*5S/ KQ-C61*5B/	KQ-C61*ES/ KQ-C61*EB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C63*4/ KQ-C63*4A/	KQ-C63*D/ KQ-C63*DA/	KQ-C63*5/ KQ-C63*5A/	KQ-C63*E/ KQ-C63*EA/
	品番※4	KQ-C63*4S/ KQ-C63*4B/	KQ-C63*DS/ KQ-C63*DB/	KQ-C63*5S/ KQ-C63*5B/	KQ-C63*ES/ KQ-C63*EB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ（10 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75°[+7.5°,-5°]/34 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~30±3°/13 秒（普通）・10 秒（速い）			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒（普通）・25 秒（速い）			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

🏠 仕様(P.102)

ラクリア 2 モーション（ラクリア・背・高さ）（樹脂ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-CA1*1/ KQ-CA1*1A/	KQ-CA1*B/ KQ-CA1*BA/	KQ-CA1*2/ KQ-CA1*2A/	KQ-CA1*C/ KQ-CA1*CA/
	品番※4	KQ-CA1*1S/ KQ-CA1*1B/	KQ-CA1*BS/ KQ-CA1*BB/	KQ-CA1*2S/ KQ-CA1*2B/	KQ-CA1*CS/ KQ-CA1*CB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-CA3*1/ KQ-CA3*1A/	KQ-CA3*B/ KQ-CA3*BA/	KQ-CA3*2/ KQ-CA3*2A/	KQ-CA3*C/ KQ-CA3*CA/
	品番※4	KQ-CA3*1S/ KQ-CA3*1B/	KQ-CA3*BS/ KQ-CA3*BB/	KQ-CA3*2S/ KQ-CA3*2B/	KQ-CA3*CS/ KQ-CA3*CB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ (8 ボタン) Bluetooth Low Energy (BLE) 対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy (BLE) 対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75°[+7.5°,-5°]/34 秒 (普通) ・ 25 秒 (速い)			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~20±2° (ラクリアモーション時) / -			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒 (普通) ・ 25 秒 (速い)			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

📄 仕様(P.102)

ベッド本体

ラクリア 2 モーション（ラクリア・背・高さ）（木目ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-CA1*4/ KQ-CA1*4A/	KQ-CA1*D/ KQ-CA1*DA/	KQ-CA1*5/ KQ-CA1*5A/	KQ-CA1*E/ KQ-CA1*EA/
	品番※4	KQ-CA1*4S/ KQ-CA1*4B/	KQ-CA1*DS/ KQ-CA1*DB/	KQ-CA1*5S/ KQ-CA1*5B/	KQ-CA1*ES/ KQ-CA1*EB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-CA3*4/ KQ-CA3*4A/	KQ-CA3*D/ KQ-CA3*DA/	KQ-CA3*5/ KQ-CA3*5A/	KQ-CA3*E/ KQ-CA3*EA/
	品番※4	KQ-CA3*4S/ KQ-CA3*4B/	KQ-CA3*DS/ KQ-CA3*DB/	KQ-CA3*5S/ KQ-CA3*5B/	KQ-CA3*ES/ KQ-CA3*EB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21~64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ（8 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75°[+7.5°,-5°]/34 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~20±2°（ラクリアモーション時）/-			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒（普通）・25 秒（速い）			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

 仕様(P.102)

2 モーション（背・高さ）（樹脂ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C51*1/ KQ-C51*1A/	KQ-C51*B/ KQ-C51*BA/	KQ-C51*2/ KQ-C51*2A/	KQ-C51*C/ KQ-C51*CA/
	品番※4	KQ-C51*1S/ KQ-C51*1B/	KQ-C51*BS/ KQ-C51*BB/	KQ-C51*2S/ KQ-C51*2B/	KQ-C51*CS/ KQ-C51*CB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし	a.95.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.95.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C53*1/ KQ-C53*1A/	KQ-C53*B/ KQ-C53*BA/	KQ-C53*2/ KQ-C53*2A/	KQ-C53*C/ KQ-C53*CA/
	品番※4	KQ-C53*1S/ KQ-C53*1B/	KQ-C53*BS/ KQ-C53*BB/	KQ-C53*2S/ KQ-C53*2B/	KQ-C53*CS/ KQ-C53*CB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし	a.99.2 b.212[ミニ 201,ロング 223] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.40.6	a.99.2 b.206[ミニ 195,ロング 217] c.133.5 d.21~64.5 e.40.6 f.なし
	製品質量 (kg)	85.5	81.5	85.5	81.5
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ（6 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75°[+7.5°,-5°]/34 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~20±2°（背膝連動時）/-			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒（普通）・25 秒（速い）			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

📄 仕様(P.102)

ベッド本体

2 モーション（背・高さ）（木目ボード）

83 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C51*4/ KQ-C51*4A/	KQ-C51*D/ KQ-C51*DA/	KQ-C51*5/ KQ-C51*5A/	KQ-C51*E/ KQ-C51*EA/
	品番※4	KQ-C51*4S/ KQ-C51*4B/	KQ-C51*DS/ KQ-C51*DB/	KQ-C51*5S/ KQ-C51*5B/	KQ-C51*ES/ KQ-C51*EB/
	寸法 (cm)	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.なし	a.95.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.41	a.95.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
91 幅	品番 JIS 認証取得	KQ-C53*4/ KQ-C53*4A/	KQ-C53*D/ KQ-C53*DA/	KQ-C53*5/ KQ-C53*5A/	KQ-C53*E/ KQ-C53*EA/
	品番※4	KQ-C53*4S/ KQ-C53*4B/	KQ-C53*DS/ KQ-C53*DB/	KQ-C53*5S/ KQ-C53*5B/	KQ-C53*ES/ KQ-C53*EB/
	寸法 (cm)	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.なし	a.99.2 b.202.5[ミニ 191.5,ロング 213.5] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.41	a.99.2 b.201[ミニ 190,ロング 212] c.133.5 d.21～64.5 e.41 f.なし
	製品質量 (kg)	86.5	82	86.5	82
フットパネル		なし	あり	なし	あり
モーター数		4 モーター			
手元スイッチ		表示パネル付き手元スイッチ（6 ボタン） Bluetooth Low Energy（BLE）対応 液晶タッチパネル付き手元スイッチ Bluetooth Low Energy（BLE）対応			
主な材質	ボード	ポリプロピレン・ポリウレタン系シート			
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0～75°[+7.5°,-5°]/34 秒（普通）・25 秒（速い）			
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0～20±2°（背膝連動時）/-			
	昇降高さ調節量/所要時間※5	43.5cm/36 秒（普通）・25 秒（速い）			

※4 JIS 認証取得ベッドとスマートハンドルのセットです。（製品質量が 1kg 増えます）

※5 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが 32cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※ 棚付き仕様の品番は「仕様」の QR コードよりご参照ください。

※ 棚付き仕様の場合、製品重量が 2.0kg 増加し、全長が 6.7cm 広がります。また、棚ユニット側のボードの高さは 1.7cm あがります。

※ 棚ユニット電源コード長さは、棚ユニットとコンセントが同じ側にある場合は 2.5m、異なる場合は 0.5m です。

 仕様(P.102)

故障かなと思ったら



被災したベッドは点検・修理をご依頼ください。

地震・火災・水害などで被災したベッドを使用しないでください。感電や火災、ベッドの動作異常により、けがをするおそれがあります。販売店またはパラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンターまで修理をご依頼ください。
- 電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。
- 故障や一時的異常の場合は、手元スイッチの表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		—	電源プラグはコンセントに差し込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。
	緑点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？（RC1＊D0の場合のみ）	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。 操作ボタンのロック（操作禁止）（P.29）／表示パネル付き手元スイッチ
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。
	常時・速い 橙点滅 （0.2秒ごと）	H0～H8	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	ボタン押下 時のみ 遅い橙点滅 （1秒ごと）	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差し込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてから操作を行ってください。
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスから抜いて、差し直してください。 手元スイッチコードの配線（P.115）
			手元スイッチのケーブルが破損していませんか？	破損している場合は、ケーブルを交換する必要があります。販売店またはパラテクノコールセンターまで点検・修理をご依頼ください。

故障かなと思ったら

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
			ベッド上で電子治療器などを使用していないですか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。
		U3	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
		U4	連続運転しましたか？（アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります）	20～57 分間放置してください。（放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます）
		U5	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。  ハイローアクチュエーター（頭側）の配線(P.117)  ハイローアクチュエーター（足側）の配線(P.118)
		U6	電源プラグが抜けかけていませんか？	一度電源プラグを抜いて、コンセントに差し直してください。
			古い乾電池を接続していませんか？（停電時のみ）	新しいアルカリ乾電池を接続してください。
		U9	動作が停止した状態で、長い間（30 秒以上）ボタンを押し続けていませんか？	ボタンを離してから再度操作してください。
			—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
	消灯	—	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスに差し込んでください。  手元スイッチコードの配線(P.115)
膝角度が 30°まであがらない	—	—	操作ボタンを押したときに操作禁止  が表示されましたか？	操作ボタンのロック（操作禁止）が設定されています。手順に従って設定を解除してください。  操作ボタンのロック（操作禁止）(P.29)／表示パネル付き手元スイッチ
	緑点灯	—	ベッドが傾斜していませんか？	ベッドの足先がさがっているときは、膝角度はベッドの傾きにより、上限数値が変するため故障ではありません。

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
膝角度が 0°までさがらない				ベッドの足先がさがっているときは、すべり落ちを防止するため、膝さげ動作は 2°までしかさがりません。故障ではありません。
ラクリアボタンを押したときに、「ピピッ」と鳴り設定が切り換わらない (RC-10D0 のみ)	緑点灯	—	ベッドが傾斜していませんか？	ラクリアボタンはベッドが水平状態で設定できます。頭または連動ボタンを押して、ベッドを水平状態にしてから設定を行ってください。
			—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑点灯	—	頭（足）のボタンを押したときに膝（背）がさがりましたか？	角度制限機能が働いているためで、故障ではありません。  角度制限機能(P.57)
			ベッドが動作範囲内にありますか？	スマートハンドルの操作でベッドの足先があがっているときは、どのボタンを押してもベッドを水平状態に戻します。故障ではありません。
			ベッドの足先がさがっているときに、頭のボタンを押していませんか？	ベッドの足先がさがっているときに、頭のボタンを押すとすべりを防止するために、先に膝があがります。故障ではありません。
			背あげ動作が「背膝連動」に設定されていませんか？ (RC-16D0・RC5600 のみ)	「背膝連動」に設定されていますので、設定を変更してください。故障ではありません。
			アクチュエーターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。  ハイローアクチュエーター（頭側）の配線(P.117)  ハイローアクチュエーター（足側）の配線(P.118)
操作したいボタンが表示されていない (RC5*00 のみ)	—	—	操作ボタンをロックしていませんか？	操作ボタンのロックを OFF にしてください。  操作ボタンのロック（操作禁止）(P.44)
			ベッド操作画面の設定で「シンプル」のみを選択していませんか？	画面表示設定の項目「ベッド操作画面」で「標準」を選択してください。  画面表示設定(P.41)

故障かなと思ったら

状態（症状）	電源ランプ	エラーコード	チェック	処 置
各ポジションが正常にとれない	—	—	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
ベッドの移動ができない （キャスター取付時のみ）	—	—	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。
ボードが外れない	—	—	ボードストッパーが固定されていませんか？	ボードストッパーの固定を解除してください。  ボードの取り付け／取り外し(P.68)

背アクチュエーターの配線

⚠ 注意

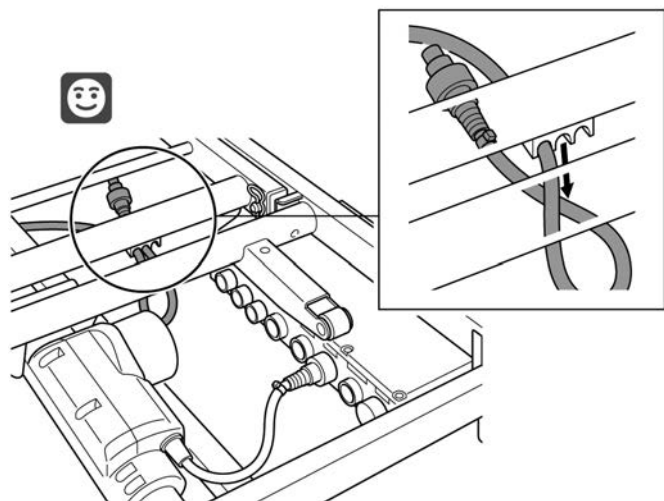
ケーブルは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

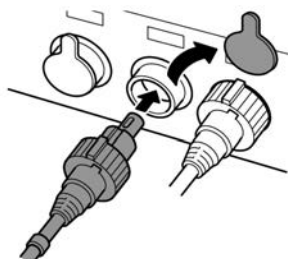
コネクタ部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障の原因となります。

1. 頭側フレームのクリップ（黄）に止めてある背アクチュエーターのケーブル（マーキングバンド：青）を取り外す。



2. コントロールボックスの背アクチュエーター差込部（シール：青）のキャップを取り外す。
3. 背アクチュエーターのケーブルのコネクタ先端の凹部を上向きにし、背アクチュエーター差込部（シール：青）に差し込む。



4. コネクタキャップの凸部が真上にくるように時計回りに回す。

「カチッ」と音がして固定されます。



Note

取り外したキャップは紛失しないように保管してください。（組立付属部品が入っていた袋などに収納できます）

手元スイッチコードの配線

手元スイッチを使用する方向に合わせて配線してください。

⚠ 注意

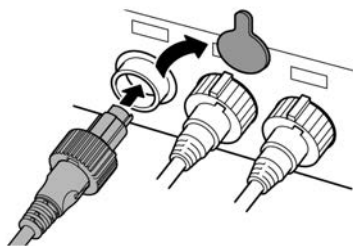
コードは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

コネクタ部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障のおそれがあります。

1. コントロールボックスのスイッチ 1 差込部（シール：黒）のキャップを取り外す。



2. 手元スイッチコードのコネクタ先端の凹部を上向きにし、スイッチ 1 差込部（シール：黒）に差し込む。
3. コネクタキャップの凸部が真上にくるように時計回りに回す。

「カチッ」と音がして固定されます。

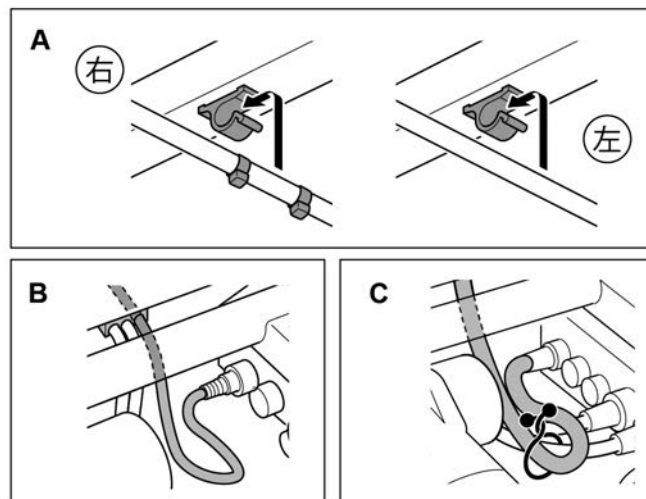
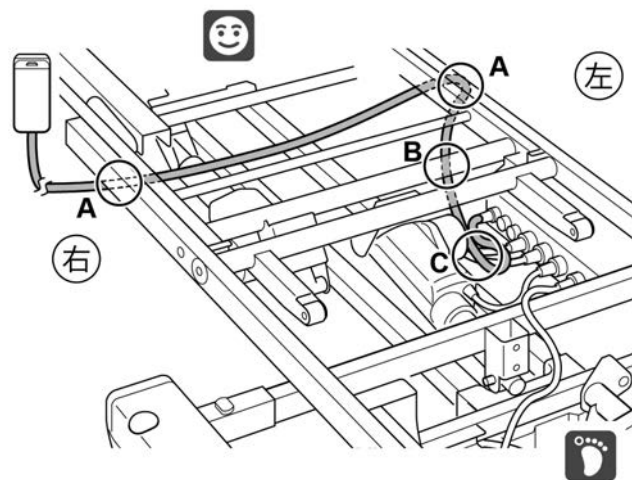


Note

取り外したキャップは紛失しないように保管してください。（組立付属部品が入っていた袋などに収納できます）

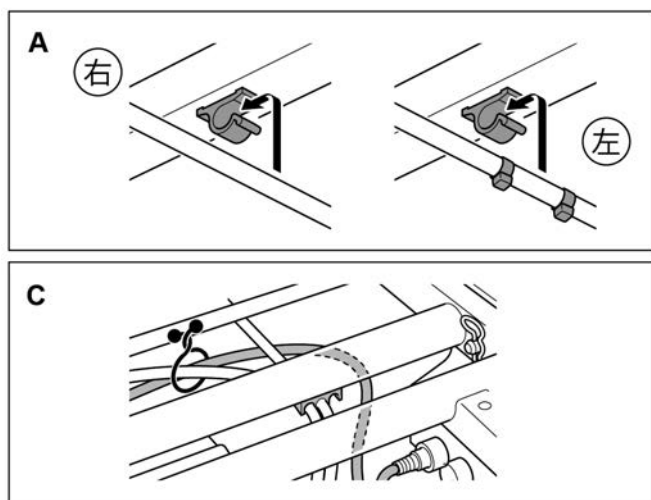
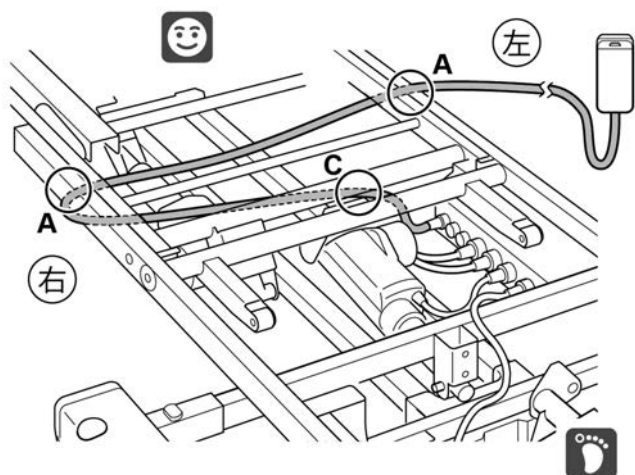
ベッドの右側に出す場合

1. コードを足側フレームのクリップ A（黄）の図の位置にはめる。右側のクリップ A（黄）は 2 つのストッパーの間にくるようにしてはめる。
2. コードを頭側フレームのクリップ B（黄）の図の位置にはめる。
3. 手元スイッチのコードと背アクチュエーターのケーブルをパースロック C（黒）でまとめる。



ベッドの左側に出す場合

1. コードを足側フレームのクリップ A (黄) の図の位置にはめる。左側のクリップ A (黄) は 2 つのストッパーの間にくるようにしてはめる。
2. 手元スイッチのコードと背アクチュエーターのケーブルをパースロック C (黒) でまとめる。



ハイローアクチュエーター（頭側）の配線

ハイローアクチュエーター（頭側）の配線

注意

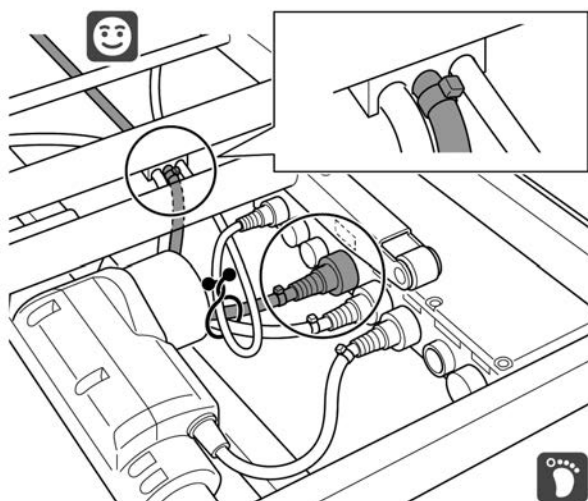
ケーブルは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

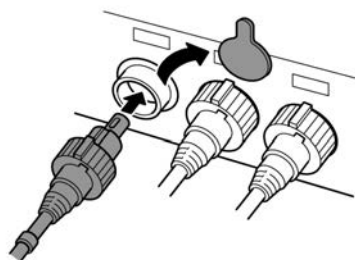
コネクタ部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障のおそれがあります。

1. ハイローアクチュエーターのケーブルをクリップ A（黄）の中央にはめる。このとき、ハイローアクチュエーターのケーブルのストッパー（緑）がクリップ A（黄）より足側になるようにする。



2. コントロールボックスのハイローアクチュエーター（頭側）差込部（シール：緑）のキャップを取り外す。
3. ハイローアクチュエーターのケーブルのコネクタ先端の凹部を上向きにし、ハイローアクチュエーター（頭側）差込部（シール：緑）に差し込む。



4. コネクタキャップの凸部が真上にくるように時計回りに回す。

「カチッ」と音がして固定されます。



Note

取り外したキャップは紛失しないように保管してください。（組立付属部品が入っていた袋などに収納できます）

ハイローアクチュエーター（足側）の配線

注意

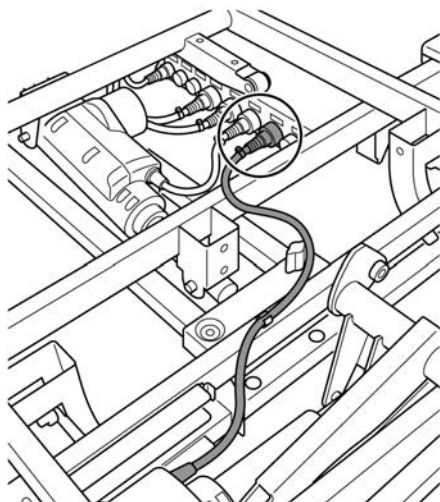
ケーブルは正しく配線してください。

断線や破損のおそれがあります。

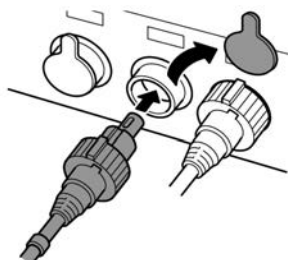
コネクタ部をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。

故障のおそれがあります。

1. ハイローアクチュエーターのケーブルを図のよう
に配線する。



2. コントロールボックスのハイローアクチュエーター（足側）差込部（シール：白）のキャップを取り外す。
3. ハイローアクチュエーターのケーブルのコネクタ先端の凹部を上向きにし、ハイローアクチュエーター（足側）差込部（シール：白）に差し込む。



4. コネクタキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回す。

「カチッ」と音がして固定されます。



Note

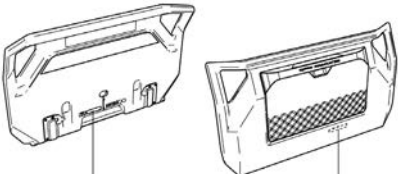
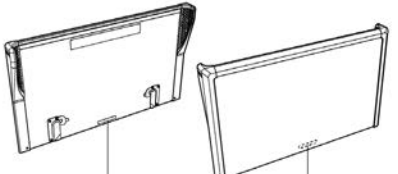
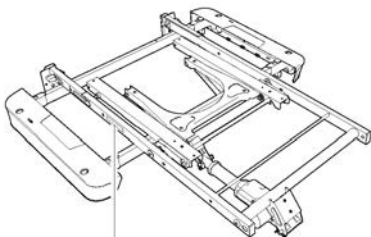
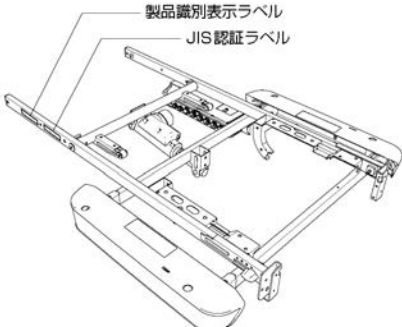
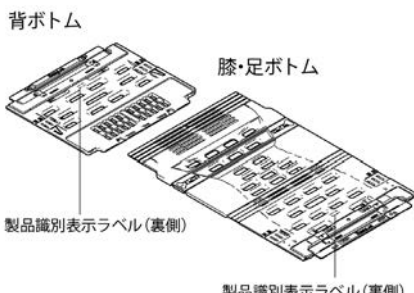
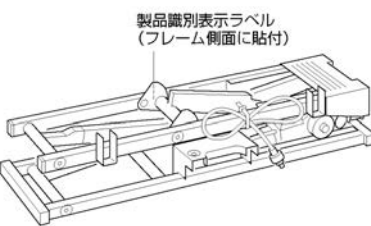
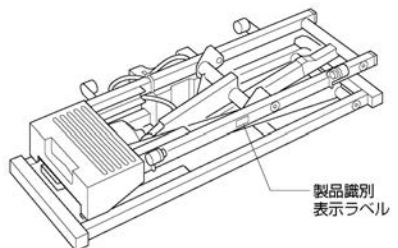
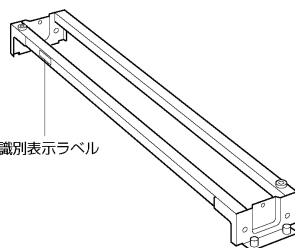
取り外したキャップは紛失しないように保管してください。（組立付属部品が入っていた袋などに収納できます）

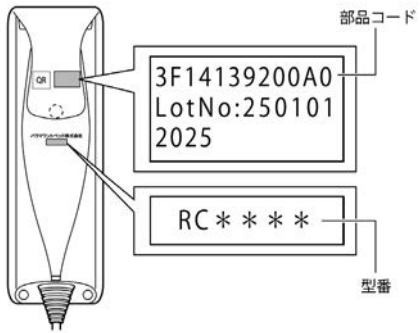
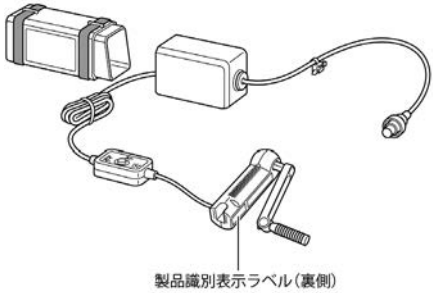
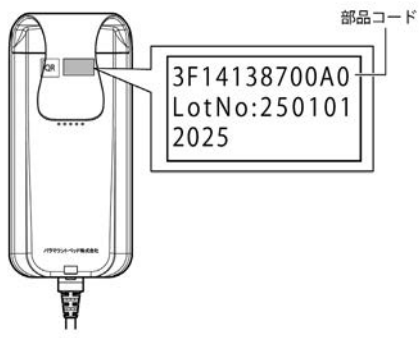
製品識別表示ラベルについて

製品識別表示ラベルについて

ユニットごとに番号が表示されています。修理のご依頼やお問い合わせのときには、製品識別表示ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

製品識別表示ラベルは、はがしたり傷つけたりしないでください。

樹脂ボード	木目ボード	フットパネル
 製品識別表示ラベル 製品識別表示ラベル(裏側)	 製品識別表示ラベル 製品識別表示ラベル(裏側)	 製品識別表示ラベル
頭側フレーム	足側フレーム	ボトム
 製品識別表示ラベル	 製品識別表示ラベル JIS 認証ラベル	 背ボトム 膝・足ボトム 製品識別表示ラベル(裏側) 製品識別表示ラベル(裏側)
頭側ベースフレーム	足側ベースフレーム	台車連結管
 製品識別表示ラベル (フレーム側面に貼付)	 製品識別表示ラベル	 製品識別表示ラベル

表示パネル付き手元スイッチ	棚ユニット	スマートハンドル
 部品コード 3F14139200A0 LotNo:250101 2025 RC***** 型番	 製品識別表示ラベル	 製品識別表示ラベル(裏側)
液晶タッチパネル付き手元スイッチ		
 部品コード 3F14138700A0 LotNo:250101 2025 RC*****	型番は起動画面の下部、もしくは設定ボタンをタッチしている間にインフォメーション画面の下部に表示されます。 ※ 下図の白枠で囲っているところ ※ 下図がインフォメーション画面が機種情報エリア  	

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

取扱説明書の「故障かなと思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンターまでご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

お問い合わせ先

アフターサービスについてご不明な場合、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノ株式会社は弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

パラテクノコールセンター

電話番号：0120-54-8639（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8:00～18:00／土・日・祝日 9:00～17:00（年始は休業いたします）

パラマウントベッド株式会社

本 社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1111（大代）
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町 2 丁目 3 番地の 3	(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園 3 丁目 23 番 1	(048)878-0100（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間 5 丁目 3 番 33 号	(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号	(06)6443-8791（代）
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 2 2 3 番 1	(087)881-8900（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町 3 丁目 8 番 5 号	(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-1131（代）







PARAMOUNT BED